全國的覇権の

でで東京の発帯は圏の代表者たる監 で東京の発帯は圏の代表者たる監 製民、職天优等所講像といこれを選 様民、職天优等所講像といこれを選 が然らしめるもので、必ずしも専 が然らしめるもので、必ずしも専 が然らしめるもので、必ずしも専 を大けの理能ではない。後等が だけの理能があら、趙の政治思 がないばかりでなく、一層悪いこ あり、他つて被等も承縁文主義を がないばかりでなく、一層悪いこ を大けの理能に外なられる。 ところの製材総能に外なられる。 を大けの理能が出版の民主主義と瞬立 とには後れは政組版の民主主義と瞬立 とには後れは政組版の民主主義と同立 ないばかりでなく、一層悪いこ がはらしめるもので、必ずしも専 とには後れは政組版の民主主義と同立 を大けの理能であら、趙の政治思 がはいるを失はなのであるが、組織変 を対しないばかりでなく、一層悪いこ がはいるのは「株文主義を 大けの理能力を持たない。超の治思 がたるを失はなのであるが、組織変 をいばかりでなく、一層悪いこ がは、ことが、機能はは、経過であら、趙の政治思 が、とには後れば政組版の民主主義と関立 を対しないばかりでなく、一層悪いこ が、とには後れば政組版の民主主義と同立 を対しる。 を対しるがらで、ところの製材総能に外なられる。 を対しないばかりでなく、一層悪いこ が、とには後れば政組版の民主主義と同立 を対しるがある。 を対しるが、 を対し、 を対しるが、 を対して、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対して、 を対しるが、 を対して、 を対しるが、 を対して、 を対しるが、 を対しるが、 を対しるが、 を対して、 を対しなが、 を対して、 を対しなが、 を対して、 をがし、 をがし、 をがし、 をがし

數は定住

昨年の移民八十七萬

ででは、 一にでするを常さしば局昨年末途の ででは、 ででは、

行に動する一片の形式に過ぎず、ド首相は八日一旦蘭京後又別野に一般へ正式會議に於て全際家が、「ロンドン七日發電」マクドナルで観るのと見切を附けたものと

次官

河田烈氏試筆

使命の一たる海外振龍事業の設度 域度を期すべく慎重審議の総果根 大的且つ先決問題として有力整固 なる拓殖命機機關を設置する要あ かとの認識に到差したが現在の探 別との認識に到差したが現在の探 場に大改革を加へて を加てな東拓、群銀、 を加て大改革を加へて を加て大改革を加へて を加えて を加えて を加えて を記述して を記述して を記述したが の内轄 に記述するとして に記述すると に記述するとと に記述すると に記述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述する に述述を に述述

関の管領並に際深の方針を脱大 所の管領並に際深の方針を脱大 市大日午後四時よりが相互既に容尾 東抗糖繊を始め在京同社理事を招 をした田板相、小坂、小村廟大百 がした田板相、小坂、小村廟大百

南京覇権の凋落

北支及東三省に及ぼす影

近するに何のこと

を大原に匙かしめて其目的を送ったと大原に匙かしめて其目的を送った。 本と大原に匙かしめて其目的を送った。

である、會見には外務大官ヴァントには九日よりジュネーヴに赴くといなつてゐるので三全職と外相といなってゐるので三全職と外相といなってゐるので三全職と外相といる。

張に歌しても野香の意向をは果を場ぶせず策を秘し居を

潜水艦廢止主張

英は斷念す

日佛の方針に鑑みて

水艦全腰は間壁にせぬ方針である

英首相とは

神目的に 電職繁策を審議

海軍會議は 日から開く ひを了る

日本と横州の制係は極めて勢いと言ったとて、表面やつばり其の情感を避って来たが、先づ良好である、官歌院のあつた以来は、それが悪い方へ起いた、元は東の情感を避って来たが、光づ良好である、官歌院のあつた以来は、一年年の情感が、一時民歌のあつた以来は、一年年の情感が、官職時である、官歌院の際民は何等の要が、「官歌院の際民は何等の要が、官歌院の際民は何等の要が、「官歌院の際民は何等の要が、「官歌院の際民は一個の大学に対する。」

交涉成立安南國境條約

間では通過既常既間にですきまりという。 では通過既常既間にですきまりという。 通過でするたが最近帰國の主張せている。 でするなってあたが最近帰國の主張せている。 でするなってあたが最近帰國の主張せている。 でするなってあたが最近帰國の主張せている。 でするなっている。 でする。 でする。

支那全權赴露期

見るまでとなった、個し画園は此間にあって支物の開既自主實行後 観歌後品の概率低下に就いては相 を動脈策を執れるもの、如く日本

多數名士を乘せ

那個商工會等と不素如何なる連 力配で、我商工會議所等力 のるが、翌

を は を なるべき 経済 が、支

らる丸の賑かな船出

十日ごろ哈爾賓出發 満洲里への 鐵道復舊

「ハルビン特像八日教」 雅克石から二キュの地脈に在る燃薬肿脈のため西部腺満州里までの開連が離れてるたが四日午後三時代東支管、五名の一行が向ひ現薬験を散ぶした。これによって膨大病別里までの開連が離した。これによって膨大病別里を終へた。これによって膨大病別里を終へた。これによって膨大病別里とのの場所が復奮した。

英外相我全權この會見に於て

我主張に賛否不表明

拓殖事業振興

見強人に陳まれ機能

金融機關を新

砂設か

始務省にて

重要會議

るか判らわ な太田長官語る 事務打合

かつた 限東京外事課長より外務省に発館した三浦菱秋氏は夫人同代同船に の三浦氏 外務省へ榮轉

兩機關を設けて

版理事と管言

△次して一時柳への暗着薬ではありませんがに小便にさる強心性の貴重な化學薬が作のではありませんと

タンが切れて咽喉が

く傳へ下さい

產業合理化

産業審議會ご産業局

では午後本時より商相官邸に 工省では午後五時より商相官邸に 工省では午後五時より商相官邸に 工名では午後五時より商相官邸に では午後五時より商相官邸に では午後五時より商相官邸に では年後五時より商相官邸に 了る内閣市版の

楽器舎

電車京入日發電

一条架合理化に

関 南院議員、民間代表者を委員に任 費勢

網は臨時産業実践した、内閣で 命することになってあるが 職件の質行機関として確 に基言を種企業 では、「場の結構、収数。

会は合誠同代多數清強は影陽係者 に見波られスモトキングルームは 脚やかだ。其他高幅緩緩場務、民 脚等に議士の概例五品理事長、小 政際代議士の概例五品理事長、小 な終援機能に定数年前十時5らる丸 出て行つた

はめて遺憾に堪へない。 ちば、選大艦艦員を煩はすにも しこれで張野良の好琴を踏潰

走

燈

國の関係を長時に最大で、大学の関係を長時にも開始して、大学を開始に現在清極工會製所が出本に起せんか、化相な連絡に一時の影響が日本に超しむるを得て、影響をして、間頭蛇尾となり、花火線管路に一時の影響が日本に超いたときに響しく、間頭蛇尾となり、花火線管路に一時の影響が日本に超いたときを開いて、一時の影響が日本に超いたときを開いて、一時の影響がより、一般では、一時の影響がなる、赤それで減剰にかける時間の関係を長時に引起された。一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対しまればれば、日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対しまれば、日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対して、一時の影響が日本に対しまればりの影響が日本に対しれては、日本に対しまればりの表に対しまればりの表に対しまればりの表に対しまればりまればりの表に対しまればりの表に対しまればりの表に対しまればりが、日本に対しまればりの表に対しまればりのの表に対しまればりの表に対しまればりのの表に対しまればりの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのものの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりのの表に対しまればりののでは対しまればりののでははいきればりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりののではなりのはなりののではなりののではなりののではなりののではなりのののではなりののではなりののではなりののではな 起して、之に縁加せんことを開合に我在補商工會議所等の動きたとするのでばない、鄭ろ此

五

院講講蒙宝帳のため 五昭年和

歌がい 七ば遊め決 三六甲

野を表明 閻氏に對

れる、閻氏は之に跳し許諾を興へら氏に繋し下野を表明したと似へら 斯生智氏は前後に骶を受け逃に闘 ・一一法官の ・一一法官の ・一一法官の ・一一法官の ・一一法官の 間氏出動に時局一變

共濟組合

ると共に劉治氏に部下を引渡し命

特約店

意「スペロイン」と御指名を乞ふ(集注」近頃類似樂が出來てあますから必ますから必要が出來であますから必要が表現の「五番・編奏 大連市浪漫町

ペロインの偉大な

Dこう呼きず毎単立時生となり配っていまる一日に推活を出観し日河一にまる一日に推活を出観し日河一にまる一日に推活を出観し日河一に

に至り難く離洲、これがた

R

お休みぬ

於つて

が

始まりまし

彈投쀍、槍投以 八百米、千五百

佐業員は大よろこび

各方面から羨望の的

で概製量一同大喜びで名方面の変

本態支配人ペンジヤミン、コップの的となつてゐる、右につき日

八沽で坐洲

武昌丸歸る

フォード自鵬車舎此で の日本工場機関神奈 にまた腕のすくような にまた腕のすりような の日本工場機関神奈 に で

白河の凍結で難航を續けて

けふ天潮丸も入港

く辞書の力をかりて執行しつ あつたところ、四日午前十時、

滿洲學生陸上競技大會

老ひの寂寥 と傾城の響いないといふ淋しさで、女闘人になって館かに関々の情をいいといふ淋しさで、女闘人に対してある、離倉 別一般は最近にたったとしい陰気な難りの生活のうちにたといふ淋しさで、女闘人

の日を設つてるたが昨年末に吸

大脈自身もこりはこれを古りたいないではいる。これの一般では一般となく正月元成から七日といる。までの年質客脈くがれたつた二人といる。までの年質客脈くがれたつた二人といる。またいないでは、これでは、これでは、

は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 ない、とも一切の配合を いので、 をでは、 ない、とも一切の配合を いので、 をでした。 でいくら、 が、 でいくら、 が、 でいくら、 でいくら、 でいくら、 でいく。 でいく。 でいて、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

(宮の台覧を仰ぎ

四月、發會式を擧げる學生聯盟が

はなり

利 週間 を愛し際く入港 して来たものである、なほ六日入 地帯定の天際丸も町神楽館のため

の本以に残し、躍り別莊に起

ある、同船員の既によれば白河本 め込んであたものだが、の天津からの入場船が見たわけで 倉殿に翻釣りに出掛け太

ド日本工場でも

頭兵式場に集合

成場に集合を開始し、午前九時廿一般署の下に午前八時より族籔堂々

初緑」にお召の颯爽たる聖上の御英姿

既兵式を御統裁 召させられ

天皇旗燦として輝き、劍光帽影

れ々木原頭を壓す

を最右翼とし、曜東兵第一大隊近 を最右翼とし、曜東兵第一大隊近 を最右翼とし、曜東兵第一大隊近 でも、東京第一大隊近 臨医下の御幸を待ち奉つたこ 大元帥陛下 諸兵を臠せらる

でいた戦闘に行はせられた、観光、帽影は代々木原顔を取られば八日霜濃き代々木練兵場に白雲の富士を背景として京八日發電」昭和御新政第五年の劈頭を飾る陸軍始大

瑞雲に浴して賦く天皇族の向ふところ時節賦入臓の職族

唐海にて九時十分宮城衛出門、衛 大元職の御正数にて、奈良侍從武 りの瓢章を帶びさせ給へる蹴載式 を帯びさせ給へる蹴載式 で長縄階乗、牧野内府。一木宮相 でて、奈良侍從武 で、大元職の御正数にて、奈良侍從武 で、大元職の御正数にて、奈良侍從武 で、大元職の都三公式職位

樂器は再び「君

殿「君が代」率奏響に同十五分

船の援助を求める事が出來ず幾日年の凍綿は釜中氷綿しても呼ぶ いた。 ・ が中に立代生を観けるの影響な 殊の外職しく宮城へ遼寧あらせちび第三公式鹵幣にて御退場御機康

| 大阪八日装電|| 大阪市港區独町 にある米人経営日本ゼネラルモーにある米人経営日本ゼネラルモーにある米人経営日本ゼネラルモー

春日町の自宅にて

て窒死

既に十五六時間を認過して居り、 更に小崗子監察費山本臀師も立會 でなく、全く

を作すべき生徒若十名を募集、委支那語、獨適語の各初等科に入風 支那語、獨適語の各初等科に入風 支那語、獨適語の各初等科に入風 支那語、獨適語の各初等科に入風

家庭研究所では八日より三月末日まで第二十三回家庭主教試験を 本記題定により開催、参理者は至 無申込まれたいと を置 一科日一個 生花 生花 生花 代五銭で預かると

也圖六金(錢十五國三金

話

4702

沙河09433 夜前用3628

9 店 商 松 島 局 薬橋本日

6

11

家庭手藝講習會

家庭用として 各種 日支公司 電話六七四八番

株職大連道場では例年の如く乗る 大阪、石地四下、銀道は山田まで行ふ響であるが、委通は山田まで行ふ響であるが、委通は山田までが、銀道は高野郷土大阪、石地四下、銀道は山田まであるが、委通は山田まで名は戦をの他多数の有段者が、銀空マへなく社戦と社員外とを呼りを差支へなく社戦と社員外とを呼りを表している。

同木 部 る守

昭和五年一月八日と御禮申上侯と御禮申上侯を満中の御怨情感佩に不堪乍略儀以紙上厚 食 彩

日本各地名 界各 むろあじ 東京風菓子謹製 色 物に豆 酒 産 是はうまい (京都山城の州製風味は) O. 物 00

間面百米の地配に 阿片心 の 前海天職立守解除長三島勝氏は強端場に於て執行するとでは十一日午後一時から率天職立町は十一日午後一時から率天職立町は十一日午後

三島大佐死去

オ

※銭遊典のB

の男

十一日に告別式

料理店〜之家にて同日午後ご時ご七日午後六時ごろ市内沙河口四町

交涉全

大相撲初日取組

十四銭の歌騨してあた日本人が八里 会者として沙神日繁に乗き出されたが、歌興中の領域もどこへやら が、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際く原職大分 の、八日朝に登って際といひ の、日本は、「西野で は、一本日に

酒

潇

ゼネラ ルモー 決裂す

千二百餘名失職 近の人達は「正月から脱下の姿をし難を登らしてゐた タースの争議

滿鐵大連道場

つるや」の仲居

死後十數時間を經て發見

自ら問ひ自ら答

悩みの日をおく

鎌倉の別莊に淋しく春を迎へた

朝鮮疑獄の山梨さんー

職の話にも別に不常と異はりなかったといってあるから自称ではなく全く過失の驚息死と見られてある、因に員人は一年程前から夫とる、因に員人は一年程前から夫と 互助の ため死んだものと 15へに死んでをり何等避害なく服の は全部出した壁で整務委で布職の は全部出した壁で整務委で布職の

の初會議生係

職、特に本年度は更倫充分に手を をお、提案の事業の遂行改善は勿 を対し、では昭和五年度の は、特に本年度は更倫充分に手を をいる事業の遂行改善は勿 は、では昭和五年度の は、では昭和五年度の 層の努力をする事を申合は

台所从七

靴

特

賣

花 3 防寒用裏毛付の為大切見 ム長 能はら屋花環店 長

地での途中、市内日新郷と終い書 中央社職等(13)は七日午後六韓四 中央社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 日本大社職等(13)は七日午後六韓四 ゆふべ小崗子に 辻强盗現はる 馬車夫や自動車運轉手を脅迫 犯人は支那人小使

連日連布

は十日の終日迄御座いますマキノ俳優軍の舞臺御挨拶

入滿員

地田本店四五六番 一一四二十五錢 二 圓七十錢

大原 羽毛浦園 富籤情 第五回六組 二十一番 右の通り電際比較也 大連市響線町七十八番組 大連市響線町七十八番組 大連市響線町七十八番組

靴









4309







○定期取引(原位線)
○定期取引(原位線)
○定期取引(原位線)
○定期取引(原位線)
○現物取引(原位線)
○現物取引(原位線)
○現場金銀製業金製業
十一時 生豆 10名0 15至3

10

慉 程中區車電町渡信市庫大番九五八四話電

の衛生サック

特殊流經 利本劑は多數の月經藥中最も優れたる専門藥にて他藥の到底れたる専門藥にて他藥の到底

最新秘藥特

募特約店

一時間」銭以内 電升/板二十分 一時間」銭以内 電升/板二十分 電船・金四鵬五十銭 で 前金三限り送料不要 前金三限り送料不要 前金三限り送料不要 前金三限り送料不要 一代引へ何レモ 金雲圏領送リアレ 金雲圏領送リアレ

年末年始に

一組のアイロンでコンロを

前三元公司

各品好調

釐金その他 廢止を各省政府に命令 國民政府は愈る來月一日か 小當課稅

新國定稅率の實施に疑ひなし

正金建値引上 格一ポイント 【横貫八日設電】正金銀行は七日 「大田」

宜しく欺かざる

生活に精進せよ

東新總裁 宮尾 舜 当満洲財界は行詰つて居らぬ

治

の人口が百萬二百萬になる日は、 必式しも強い解釈ではあるまいと 信ずる、在満邦人は今日に於て、 信がる。在満邦人は今日に於て、 日な生活」に精進すべきであらう

6

"(可認物便壓種三第)

して藍金其他の不當跳稅を既止し取時準備に驚手すべしと命令して「月一日より關稅自主實行に決してゐるが、各省政府は其前提と「北平七日發電」國民政府は全國各省政府に對し中央政府は來る た。之を以て見るも支那が二月一日より國定裁率の實施は萬々凝

ひなきものと見らる

海關收入

既に十數店に及ぶ 支那經濟界の恐慌

五

『北平七日發電』銀相場協案のた に低窓する一方にて支那は非常な事に於て有力な銀業者の敬産せる 者は事實上三朝五分者くは四朝の事に於て有力な銀業者の敬産せる 者は事實上三朝五分者くは四朝の者十數店を算し、今後殆ど底無し 繊像に等しくなつた

奥地商人達の

意見をも纒める

消費組合問題につき

九

露支の紛擾で 正隆滿銀惠まる づれも收益増加

主統會は二月十五日頃である。なほ補銀と後期繰越の豫定で株主部党 中野である。たは瀬鰕の松

けふ商議で運動法其他協議

がその反動に活んで居るだけだと 思つて居る、若し夫一般的感染界 であつて、狭して満洲のみが腫り であつて、狭して満洲のみが腫り であつて、狭して満洲のみが腫り の中心市場たる大連や率天など

大連小賣商店界の前途

團體の力に依り其活路を拓け

である。然し御承知の通ぎるとか云ふものが相常にかりでなく満洲に於て非常な響性を である。然し御承知の通知の自然に変に変にならない。從來の如く整理上から云に、從來の如く整理上がら云を記りに全性など、一般に全性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に会性など、一般に表して、一般に表し、表し、一般に表し、一般に表し、表し、一般に表し、一般に表し、一般に表し、表し、一般に表し、人性の、表し、人性の

手形交換高

金銀共激增

前期場へは 動物は無配常にて二十萬 動物は無配常にて二十萬 動が行はれる複様で本月中領重で を含せて五十萬 動物を告げ純益三十八萬圓程度の である、再して を含せて対五十五萬圓程度の である、更に滿 の動き計上を見る模様である、両して を含せて対五十五萬圓程度の である、再 の動き計上を見る模様である、両して を含せて対五十五萬圓程度の である、更に滿 である、方 である、方 である、方 である、右

日 下交換高は前月に比し左の如き微 「一月中」 「一月中」 「一月中の 「一日中の 「一日の 「一日の

の匡教

として

野力を挑はねばならん。

である。郷門は戯郷な産業行政営 上駅郷な産業技術者を変成する事 は、一である。郷六に産業者業者をしてである。郷六に産業者業者をしてである。郷六に産業者業者をして

所見の一端を述ぶ

E

E

要してドウ云ふ結果を探索するでは朝野戦味の中心となって居る。 これに対に一月十一日後の郷海界

例行 數字

奥地市況派期

常市は氣配變らず五月本十銭安直は一二十4銭安直は一二十4銭安直は一二十4銭安前東は一二四十5銭安当東は一二四十七十枚

アイロン界。大革

化學工業博覽會銀牌受領繼東京博覽會優 **獨和洋酒食料品店,藥店、練貨** E 香味色佳良滋養力偉大 健胃補血與奮作用卓絕 ミツワ石 ▼如斯人は直接 精力が成り元気の無い人 代理店 規那鐵葡萄酒。 のミック規制織葡萄酒を用ひらるべし SUWA 一、下倒の水く根いて居る人 ・ヒステリー俗に謂ふ血の ・ヒステリー俗に謂ふ血の

工事の御用命は 高高 石 新聞班OII董《 硕小 野 井木 共同建築事務所 (新型) 共間電流 图 1.28 (新型) 共間電流 图 1.28 (新型) 共間電流 图 1.28 (新型) 共同電流 图 1.28 (新型) 共同電流 图 1.28 (連市紀伊町建築協會三階

花しゃがに スか水好もれ仙いカる好た

朝鮮郵船株式會社大連代理店近海郵船株式會社大連代理店 船客業務代理店

日本或歸此大連出張所

三近海野の海の 川日本郵

■阿波共同汽船

● 南鲜裏日本 | 大阪

尼日清汽船 計島上海行 華山九 代理店 大 · 山 · 南話四

大阪商船等武大連支 天津迄溯航 河南丸

1 3

パをロット高級馬車筆

六五〇二

外をつける(獣) 小松田聞多の死………(獣) 渡途羊太郎の死……(獣) 渡途羊太郎

話

新港大連回日日 日本の

弘

瓣) 白 山

つける

一日間山科行雄

をした經驗

(日曜木)

所

申はに込直あ

被人形中田信子 ·被人形中田信子 · 大人世里深尾須麗子

趣味のかたはら

花小內

柳兒 病兒 科科科

て滿蒙の現狀を

初版は

鎌告で共に賣切れ

再版・三版を増刷し

主日幹支

姬野德 著 最新刊 一定個金一個十銭(世界)

愈々發賣

0 好讀物! 照出されるは、世界的一点で表別の出されるは、世界的人が表の様母、逝けたの意の機母、逝けたの意の機母、逝け 成金成功列傳 辰野九紫 异物語 (凤代略) 山本照夫

世間への抗議

良い醤油は キッコータッ

な社會施設の色々……

東の世になっていまる性で異な話

大連鳥 羽洋行

要社會式珠薯研本日, 石砥砂剛金

とな

下さい

廊在法寸各

▶ふ乞命用御す荷入數多記上◆

密新入荷品

內科專門 安富醫院 光烟器院 文原審油會社 電話八五〇〇番 門〇町 資本金

大連市浪速町四丁目(周芳亭順)

24500円止らぬ時計 支店所在地 但未被自 整正术 長

東陽洲龍

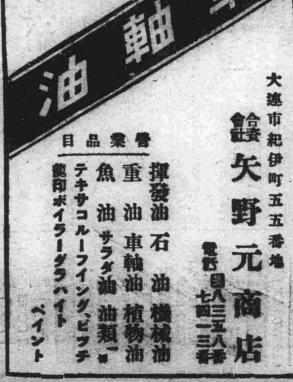
大長警衛旅安

連卷口順順並

美金近石器平 田寨江城井間 時 時時 計學件別計 百行行右周寅

思言

壹千 萬 大連市伊勢町六十九番地 會株 **范家屯、吴春、吉林、鰲船、太溪湖、安東、鎮縣街**金州、普蘭店、鎌子窩、傑山、奉天、小西疆、**及主**樹 頭取 滿 村井路 香(代表)四一二二三番



朝各煖石 種房 綿 日 一 用 製 在庫豐富多少に拘らず御用命願ます 保各 ッ バッ 丰 v では、 「日本が大連市条町十五番地大連市条町十五番地 突が式が

印刷 不 東亞印刷 離大連支店 大連市近江町 般 オフセツ 活版。石 智 話 (七) 九八九四十

が設定が日を内定する管であ られてある である、一世して政府に有事が開き来る でが映画 してある 解放方針は最早歌かし得めも なり休舎明け後國務大臣の施 なたり休舎明け後國務大臣の施 政友會の選擧策 談笑の間に日英の

年後大海東京

果人科力概を訪ね「最早萬策つき山人物小泉策太郎氏の如きも最近

のことであるが十五日より移轉 のことであるが十五日より移轉

した。

施設乃至併合等は完成して行か 一端設乃至併合等は完成して行か 一端であることは充分 同標するが満線の鎌道観度が進 歩して行けば行く程工場などの 歩して行けば行く程工場などの かまる。とは充分

変験青年即有志を以て組織された を放送期方域制したが右域制 の會見後同理事は大製左の

遼陽工 は出來ない

がの抗議に

残らず粉碎する

米國陸軍豫算

である。 東内にはパナマックである、本のである。本のではパナマックではパナマックである。

非軍事費合計は一

(各通) (各通)

官制案内容 委員の顔觸ほど內定

の意見有力となり家、能谷、島 にまじて
「教師」
「教師」

米は自國のみの

材を圖らず

米大統領のステートメント

我兩全權

、現有勢力維持を目標として成

迷學廓淸審議會

東京八日愛電」政友會は今期識 主義を以て繋散を散行し変量祭 心が七日の曖昧の結果政府の総 大・七十の曖昧の結果政府の総 しむ の意見有力となり袈、能谷、島 ・ 後補者 ・ というだいし、 ・ というに、 ・ といっし、 ・ というに、 ・ というに、 ・ というに、 ・ というに、 ・ というに、 ・ というに、 ・ といっし、 ・ というに、 ・ といっし、 ・ といっし、 ・ といっし、 ・ といっし、 ・ といっし、 ・ というに、 ・ というに、 ・ といっし、 ・ といっし、

現有勢力保持を目標

るべく現職員に優先欄を興へ修 ・ 化つて公寓候補者は特々二百一、從つて公寓候補者は特々二百

軍縮意見を交換

マ首相一流の外交策

傍系會社は整理

の事業單純化

がする選洋医職を整本 がする選洋医職を整本 がする選洋医職を整本 がなする選洋医職を整本 がなする選洋医職を整本 がなする選洋医職を整本 がなする選洋医職を を表する。

幣原外相議會で

「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支那の脚端に理解と同機を有する時、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野の脚端に対する。 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を有する時、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。支野島にも重大なる場所を向きたが、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「東京八日襲電」支那の陸戦地部。 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に一大会に下では一大会に不管戦機と同機を有する時、 「中は一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会には一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に対象が、 「中は一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会には一大会に下では一大会に対象を一大会には一大会に下ででは一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下ででは一大会に下ででは一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会に下では一大会

蒙の支那馬の

奇怪なる運命の騾馬

駐支軍の撤退に

對支方針を表明

相當に進歩自由的か

列國は断然反對

支那から要求あるも

及特性に就て云へば、絶数 能力大にして且つ長宗連編の使用 を動き、連形及証がに適す では不実で、飛館の前度 し臓及乳を前下方に下げ で動き、連形及証がに適す 及背高小なる質め障差に概る使用 を動き、連形及証がに適す 及背高小なる質め障差に概る使用 を動うには不実で、飛館の前度 利である。 である。 でいるので書せ高 神である。 では、絶数 能力大にして且つ長宗連編の使用 が、不常地が行に巧で書せ高 である。 では、他が、である。 できせ高 使用 が、である。 できせる のである。 できせる のである。 できせる のである。 できせる のである。 できせる のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでな。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。

地方に於ては二世地方に於ては二世

産婆試験主事ヲ免ス

石光勝

一會委員ヲ免ス

川合又一

宛て

阁氏の中央擁護は蔣氏擁護でない

所散に向って

洲 日 報

さ すると通電し決して國民黨を脱黨 いぎ すると通電し決して國民黨を脱黨 い を構造するものではない、換割 大を挑衅するものではない、換割 一大を挑衅するものではない、換割 一大を挑衅するものではない、換割 一大を挑衅するものではない、換割 一大を挑衅するものではない、換割 時局の複雑

本業地方から変を置した 一本業地方から変を置した 一本業地方から変を置した 一本業地方から変を置した 一本業に如何にして時間 である、圏氏は今後 である、圏氏は今後 である、圏内は一体があるか。

は局敵の打開

給料を半減され

場の立合ひ

逃亡兵が續出す

命ぜられ從つて戦や 大学では、一学のでは 山海關の于學忠軍

人りて

閻氏出馬の眞意

(73)

海域日本 をして紫外的門

では、縦し内側の門中が繋がされても、無條件に外力の徴感に屈服 は、今編大三巴坊牌の名に依って は、今編大三巴坊牌の名に依って が完成には、参照をいる。 をが如何に密接な關係にあつたが も明らかである、それはエスイト が完成には

電政機關改組

また カフェー 主急 まりたした 大連飲食店組合 電三八四五 大連飲食店組合 電三八四五 一門通常艦機際干山閣電四三六二 門通常艦機際干山閣電四三六二 一門 お上電間三九十四 本谷商店 大谷商店

写真 女無服の準備有日本艦際 電話三五人四番 **薬及治療**

ラデオは何でも大強地であるが発展を 五球 ニュトロダイン 天付五五間よりの 金庫 問宮式 手提金庫

私 治" から 朋 を

事を蒙る

の無法な壓迫に

不用 品製切本位質受常所 建漁商犬 電六八四一常味町 建漁商犬 電六八四一常味町 建漁商犬 電六八四一

大 ・東京集鴨町 上輪公五八 ・ 東京集門町 上輪公五八 ・ 東京集門 上

貸衣 吳鵬體明 クサ ル連町五丁石 ル連町五丁石

ラヂ

一個家

数十五极三 经有行偏行 在在回回搜回 活

 \equiv

社一回金贰拾銭增 金 参 圆

支那側へ抗議 日本通信夫

無いからには かいいでは が、からと称しては をからと称しては をなりと称しては を変えしい。 を通ば を変える。 を変える

1 一職無分の職者なることを物語があったが是等は地域であったが是等は地域であったが是等は地域であったが是等は地域であったが是等は地域である。

水滑競技大會 來る二月二日に開催 各所に打撲像を受け休業一週間に て總領事館を州し鰕重抗職を申込 た該連信夫は巡暫の暴行により 郵便貯金 緊縮の聲の影響

とを突き止め繊維し目下取職中で四時頃右旋邱館に住込んであることを突き止め繊維し目下取職中で

であることが判明し率天署に於て

0

電あった 成あった 魔あった ので利益金属分等につき協議する

七日午前六時半頃率天驛において撃動怪しい一支那人を警官が認め収謝べた處、身體に阿片を隱匿とした彼は王光先してゐるのを發見した彼は王光先

▲山内滿綴監査役 七日朝-▲菊竹鄭家屯公所長 同上

第三熔鑛爐竣工

Щ

來月中旬火入式擧行

九十九峠の馬 語 澤田生

25年、ことのであるが諸率後 郷船 人は阿片密輸の目的で天津よ神北省生れ変白氏でした縄する支

女の阿片

きからその池で続いだり釣りを た一つの幅があつて下には寒い監 に一つの幅があつて下には寒い監 ではないなる。 と大層語がつてるた。こと大層語がつてるた。こ 大分市の附近に大道と云ふ村が

手腕を曳いて岸に下り騒を打に立 「何幸命ばかりは助けて下さい、あの夏の夕暮一人の馬子が爲の」しよふとすると、河童は手を合せ か て見上げる楽堂殿は一郎高く嘶き か 1三間飛退いた。するとはさりと が 1三間飛退いた。するとばさりと が 1三間飛退いた。するとばさりと が 1三間飛退いた。するとばさりと が 1 三間飛退いた。するとばさりと が 1 三間飛退いた。するとばさりと が 1 三間飛退いた。するとばさりと が 2 かれた瞬間 密に打ち掛げられ頭の 水をとぼしてしまい力がぬけ ひょ

聞ってからあけます」とそ 道を二三丁行ったところで 道を二三丁行ったところで

取被下度、不足の分一個は此 時に思ひ手紙をあけて見ると 機に思ひ手紙をあけて見ると

の來塾に危職を避れるととが出來 をの中に八丁四方の機原を解で力た をの中に八丁四方の機原を作つた での中に八丁四方の機原を作つた での中に八丁四方の機原を作つた での中に八丁四方の機原を作った。 での中に八丁四方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 での中に一方の。 でのり。 でのり。

一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。 一夜の松に二夜の棚)と呼んである。

九十九線と呼ばれる様になった。

國教質の手筒山に新田義貞

多 新年の概樂として且交親陸の意味 たる庫雀會は五日正午より内外能 たる庫雀會は五日正午より内外能 中名夕食を共にして和頻識を會者六 十名夕食を共にして和頻識を書

麻雀會の盛況

春風秋雨幾百年そのときから此 他の底に数をつけた馬の数が見え るばかりか、城主の沈んだ六月八 たへられ、里人はこの池を馬見の たへられ、里人はこの池を馬見の

高木西村の 兩氏表彰せらる 日本産業協會より

新代常民政支景線都限長平井州三新代常民政支景線都限長平井州三代は六日午前十一時三十八分金州

石川支店長赴任

の活動を餘嘴なくされたのも通理の活動を餘嘴なくされたのも通理が不眠不休

十の地数を計る事とし、次回は十五十の地数を計る事とし、次回は十五十の地数を計る事とし、次回は十五月で三時四十分散會した

今回青島支店長に栄養して 前八時三十八分の列車にて家族同 一世社任の等である

小學校裏稽古 常地小野では來る十日より二十四日まで

車にて来開し開原第一中歐の鐵路 車にて来開し開原第一中歐の鐵路 車にて来開し開原第一中歐の鐵路 車にて来開し開原第一中歐の鐵路 滿鐵新年宴會

出初式の壮観

十餘年の長い間の金州生活は忘る」ことの出來ない第二の故郷と 言ふべきであつた、幸ひ長年の 公私の援助に依つて得たる處の 信念を以つて至誠國政の一端に 情念を以つて至誠國政の一端に

大窓の船にて離低の響である、筒野する一次では、 動子高民政支髪に変に、 動子高民政支髪に変に、 動子高民政支髪に、 である、 にて整し、 である、 にて整し、 である、 にて整し、 にてを になる。 にてを にののである。 にてを にのいました。 にである。 にでる。 にである。 にでる。 にである。 にである。 にである。 にである。 にでる。 にである。 にでる。 にである。 にでる。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にである。 にでる。 に

養士に關する講演ある告 養士に關する講演ある告

小學校義士會 缓气

鴨綠江

の氷上に

名一圓改元料三十銭につき同野港

今日の案内(九日)

安

バスを運轉

道當局も賛成調査中

震察に報じたので一物も得ず逃走が、家人の一人が隣壁に逃れ急を た四人組の馬賊闖入戦發を愛別したで家人を威嚇金品の提供を迫つたが、家人の一人が隣壁に逃れ急を が、家人の一人が隣壁に逃れ急を

城を捕へた

高泉が泉駅に招き新年宴舎を開催 多数を十五日午後太時より場場子 では、一番のでは、1000年では、100

冥湯崎子温泉より來鞍し禦儼所を かかま主催磯道部後援の全講選泉画

温泉廻り團

製鐵所見學

満鐵の新年宴

牛莊派出所主任

係官衙を監防し新伝の挨拶を株新伝管祭署長は六日支那側 林署長の挨拶

英國植民地功勞者列傳 在牛津

(日曜木)

松花江上の橇

「古林をとしまり」とも ・ 「「古林愛」 無年十二月初めより三月中間に至る松花宮の総が期間は氷上を織く変化・ 「古林愛」 無年十二月初めより三月中間に至る松花宮の総が期間は氷上を織く変化・ 「古林愛」 無年十二月初めより三月中間に至る松花宮の総が期間は氷上を織く変化・ 「「おいま」といった。

行で官民多數の見送りを受け出酸たので七日午後二時二十三分酸急

出初式の順序

久留島氏外遊

イギリスの職民地郷雪には沁々と着へきぜられるものがありますと考へきぜられるものがあります 人に行き重つて居る事實でありまと云ふ精神がよく英國民の一人一と云ふ精神がよく英國民の一人一と云ふ精神がよく英國民の一人一 り」といふものがあります「支那へ電数に を記ぶものがあります「フイ と概念」と云ふものがあります「フイ と概念」と云いるのがあります。

荷も志の ある青少年では 我々ったから 満足させる餘地のない所である。 地である。我々の建設的な悠望を地である。我々の建設的な悠望を

大 無理がないではないか。別んや今 な 日英帝國の軍艦は本國を離れてそ め の艦領にかよつて、居るに於てを け この國の一般が海の外へ乗りず

日暮しの出稼人根性の風の吹いて職民地に片々たる。情ない、その感心する如く、英國の 感心する如

本事賞であります。更に英窓園全 ・ に希望し、大から大へ数らの後 ・ ではあります。更に英窓園全 ・ かがあり、一般のこの意象を離り、彼ら ・ なりがあり、一般のこの意象を離り、彼ら ・ なります。一度に英窓園全 ・ ならのと選ばれた時ではなります。 ・ 本園の作品のに選手を設し、 ・ 本園の作品を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに選手を設し、 ・ 本面のに ・ 本面を ・ 本面

七日公會堂において

本年の元日は残しく悪まれた際

日支有志の交驩

製造物の宇和田野部補が低ぜられ

本 十二月中に於ける當地郡便局事務 は流石に節起歌分郡學に製竹の 成誠で受入二千五百九十一日三萬 成誠で受入二千五百九十一日三萬 一七十四日二萬三千四百六十四回答。 第金一萬二千四の預金超過を示し 小さな紙口で収扱つた現金總額受 小さな紙口で収扱った現金總額受 郵便局の繁忙

学民

程、若返って來ますとは、此

で下さいで、こうして一週間を毎晩續けますと、此寫集の美人の前日迄あつた小敏は浅くなつてゐます。一週間を毎晩續けますと、見ちがまただ。

若返る皮膚の改造薬!

る程



一(五)

美しい聖髪に染る









投票された讀者に抽籤で賞品を呈します。下記の規定に依て投票して下さい、投票の多いのを一等としこれに選に當られた人です、讀者諸君は何れが一等美人だと思ひますか、縣下の代表美人として推薦された內審査の結果一等から拾貳等迄の縣下の代表美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府此の拾二美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府

定

規

、投票は郵便はがきの 、投票は「多人名及其 の事 、被票では美人名及其 の事 、被票をは 、大阪市北脇中ノ島





嬢子やつ橋石 欧大



(許特賣專) 薬除驅蟲蛔の一界世

で下さい。

いゼンニクマド 間にわきま 妻へる 動たら美貌も 美貌は女の命 クニ 5

店商吉友澤藤 二町修道板大







嬢子靜 柳青 舺

嬢みき 原質佐



孃江 靜川 夏 麻

鑲枝 初村木 京東





嬢子のま中田 館画

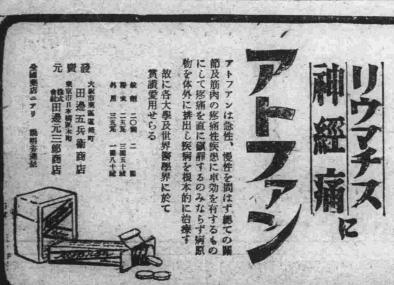


母の子に對する愛程眞劍で純真なものはな 眞の愛の為に

又お母様御自身の滋養としても御常用下さ 早速ラクトーゲンをお與へ下さい。キット 思はるる点が少しでも御座のましたなら、 健康になられます。 い。若しあなたのお子様に發育不充分だと ますれば常に健康を保つ事が出來ます。

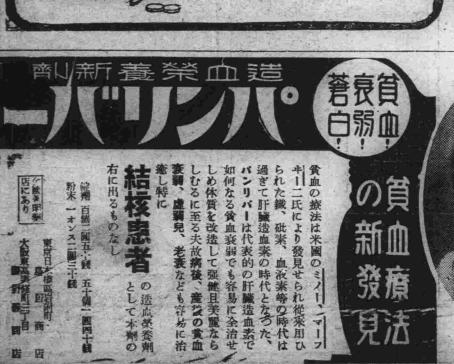


孃代 鈴鳥 大京東





嬢 * す 黑石 屋 お名





孃ミキ尼大 剛 8

選者氏名は一月下旬水紙上に設表大阪電報通信計縣賞保市北島中ノ島 宗には美人名及共欄の廣告を記入宗は一名一駅に限る 品 Ξ 個宛 = ΙE 人人







常る官意が既に外國の國歌を如何のであつて、またこれが取締りにであるかと言ふことを證明するもであるかと言ふことを證明するもであるかと言ふことを證明するものであつて、またこれが取締りに無職者

で、西洋樂の二長調だと思ってゐ まり、同じく二世に終ってゐるのと、メロデイーが二世に始 なり、同じく二世に終ってゐるの で、西洋樂の二長調だと思ってゐ

東に解、からして國歌の概定されたのは明治十二年のことで、それは後我が鹽海軍では騰騰式にこれは後我が鹽海軍では騰騰式にこれがでした。そして明治二十三年とんでした。そして明治二十三年とれてした。そして明治二十三年とれてした。 に定められたのである。

去年の大連長唄界 を思つてるのちゃあるまいなったと思つてるのちゃあるまいなったら、來る君は勝手だが、來らしたら、來る君は勝手だが、來らしたら、來る君は勝手だが、來らしたら、來る君は勝手だが、來らしたら、來る君は勝手だが、來らって記減洲に於ける。美婦界及び其間の人。

の これは結構さらしい網描さが居 なとる者が居るかと云ふ意味か、それとも網楽 なんないが、どちらにしても居るで 然しないが、どちらにしても居るで 然しないが、どちらにしても居るで 然しないが、どちらにしても居るで 然しないが、どちらにしても居るで へ行つても減査と深優婦と網描き 第一、滿洲には繪描きが居るかと云ふこと。

イクロフオンからこの機械に が無められ、其處で雕を実施 が無められ、其處で雕を 無が見 ▼Shorts できの拙い器の ピッタリと合致するやらに撮影 する過程の する過程の まる過程の できるとこれである。

を間でして現ないと言ふ既既にあると言ふことは、國民自身の無自 数で常事者は今後の音樂教育に就なりません。この結果に鑑み なで常事者は今後の音樂教育に就なりません。この結果に鑑み なでありません。この結果に鑑み なでありません。この結果に鑑み なでありません。この結果に鑑み なの言いと言い、自國の國歌

サウンド模様

展望臺

油村水太郎 水太郎

のりますが、これと共に一般人 ありますが、これと共に一般人 も、こんなこと位は常識として必 から、一般家庭教育の選任者も子 から、一般家庭教育の選任者も子 のの一般のでするかを徹底的に知 のでする。

Monitor Man 音響技師。

Movicoln トーキー撮影後、
Movicoln トーキー撮影後、

Mismallに技師が使用する機械音

ANo Bottom 監の底がない。す

なはち、低質が置れてゐるとき

なってゐるとき。
の為め音響の部分が傷んでゐる

で

の為め音響の部分が傷んでゐる

で ▼White Light 撮影の趣噌が出 四 と云つたら歌橋 と云つたら歌橋を買ふのでなくて名を買いならったら歌橋を買ふのでなくて名を買いなものでもよい、東京美術と関いで来る。そしまも満洲へ来ていなら細は萬吾さんの。

海洲では總より名を買ふと を知らず、漫然と蛭の山 をる領持ちで内地から浦州へ行 来る網描きが年々多くなつて 来る網描きが年々多くなつて で、一次の知きは大連にだけもそれ 大変の知きは大連にだけもそれ

君が代は洋樂でない

十二律と言ふのは音名であって、 大下レミ……と唱へるに等しいもの 下レミ……と唱へるに等しいもの であります。それで「君が代」を この雅樂の遊波に當て部めると、 この雅樂の遊波に當て部めると、 この雅樂の遊波に當て部めると、 一調に似てゐるのと、今一つは前 に調の頭りに風の和膠が附けられて なるのとで「君が代」は洋樂であると思つてゐる人が多いのであります。

滿洲美術界展望 さらに右のグループに膨しない 人々を襲へてみると、谷山群生君 君、佐殿功君、庭山等治君など、 云ふ人々がある。が朧更に多士僧 水であるが、健今ば昨秋の二科に 入選した田口正人君の如く、今僕 入選した田口正人君の如く、今僕

舖

化

内地の繪描きへの返事

のものである。 日本端にもアマチュアは居る。 君の如く。然しその他は四君子が がある。 のものである。 は石田茂 で、成は石田茂 で、成は石田茂 で、成は石田茂

が を対は を対は をの一人の常木君も城連ひの脚 をの一人の常木君も城連ひの脚

く――継然とはしてゐたが――集然日本職の連中が集ったもので昨年秋のが第三回展覧館であったと思ふ。第一回の時は新入壓式の如

った。それが二回三回となるに及んで若代中徐迟陳者が出て來て「全演の教育 関係 の書家を 綜合した」と云へなくなつたやうであるこの會は、解事題的特部で、他田季は別様の書家を になるに及 年実術を有する地であるが、この一 を有する地であるが、この一 形を有する地であるが、この一 ではそれた人物野府機能の下に にはそれた人物野府機能の下に にはそれた人物野府機能の下に

にやつてゐる。

連

市

會株 部 社式 通

今

津佛國理

學

+

發

紙

類

直

輸

大阪

市東

社式

許特賣專

蚊

効能で賣れる

株洋日乾富王 式 本 士子 會紙製製製製 社類紙紙紙紙 丸 株株株株 王直式式式式 商 會會會會店 輸 社 社 社 社 出出代代特特 張 理理約約

岡 本

出張店 電話長船

札東電振 幌京市受口 南本一 所入店店店店店

萩土 商地

賓

中

受振電 略焼水大阪大阪大阪 サ阪六五五 ョの町場

外寶寺 商 町 北 入

八

初音町の路上で. 片割を逮捕

| 一 | 連帯大連署長自からトラックにて | 連帯大連署長自からトラックにて 行方搜查

皇后陛下 協足をし悩命東洋ホテルに疲れをと其場で左の如くスケデュールの

獄舍になやむ

小川前鐵相

粘局議會解散にあい

極地にある水上の末間 いて其機會を認つて居た。 がの序をみだすことを慎い がの序をみだすことを慎い かはこれを聞さうといふ大士

所込申

の世相を纏ふて尚其命脈を取 今日まで條へで居るといふべき 日本書称にある中大兄皇子 日本書称にある中大兄皇子 と中臣餓子(藤原鰺)

化新政の大事業を成り

物の話

遊園者駅では一般に球の登見は適 では関節では、一般に球の登見は適 では、側話などもあるが、最近の は関節では、単語などもあるが、最近の では、単語などもあるが、最近の では、単語などもあるが、最近の ボーツマン
天智天皇はス

董 錢鈔、株式、各地

することが出来る。 敬物といふ上のスポーツマン天智天皇に光つてのスポーツマン天智天皇に光つて居ることも順治い。

組の强盗押し 通りか」りの密偵が 直ちに全市に非常線 の兩替店に 一名逮捕 3

大変手をも外内の希望者は直接 をというとも外内の希望者は直接 をというによる関東外選手職大

スケーテング

坂町遊館夜警番工藤喜太郎 食店だるま事安原トワ方に 出双で斬つけ 重傷力 昨夜 帳場が遊廓の夜警番に逢坂川だるまで を負はす

A郎の頭上都面をメッタ斬に四五 大喧嘩をなし信重は出双を以て喜 は取識べ中

に重傷を負はゼ喜太郎2

東京 電化工業株

規水合門 十二日午後一時より機町中堂師範宅に於て動題高速 、戦略、戦略、東北土車、金札、 では、外別時の番組にて本年 では、外別時の番組にて本年 八魁者の舟線に當りつい形 大阪出張所及製造元 三

出税のアメリカ九にて内地へ起き響・国に京城帝大チームは十一日配よ響で職能な事は九日に衆定の 日本選手職大會に出場の豫定であ 野、寒、長谷川、萩、花、名末の如し 窒死女

生活難から 青年毒をのむ

大いに緊張

初日五十 てお客集め

世

界各國

酒類

000

東京風菓子謹製

春場所は

重役望への通話は從來州り交換手四洲鐵路局へ置込刻ががあると倘を下の交換感と収換へ間一部分は本天の交換感と収換へ間一部分は

天草鹽うに

是はうまい

(京都山城の別製風味は) 玄米入宅の番茶

母親に遺書を届けて

全満郵便局の

昨年十二月中全滿日本郵便 職も無く厭世の結果死を職 現金受拂成

「東京特電人B設」大相撲容場所 な明日に数へた八日午前十時から な一選しそれより初日取組登表 しため全市風負筋へ觸れ太強とと のため全市風負筋へ觸れ太強とと のため全市風負筋へ觸れ太強とと のため全市風負筋へ觸れ太強とと 土は一名の休場もなく十

生り見たる臓を臓に駆用する5世 部に於て「穏と動闘及び個人と民 部に於て「穏と動闘及び個人と民 來る十一日

職人會では来る十一日(土曜日) 一様、清潔者は十日迄に満城本 を動の出席を望むと、會費金二週 の動の出席を望むと、會費金二週 の世界を記憶を開催、會員 では来る十一日(土曜日) 崎縣人互禮會

●電燈線で御飯が大けると「ス井ツチ」 ・ 御飯が大けると「ス井ツチ」 ・ 御飯が大けると「ス井ツチ」 許特 İ 出來る釜 **倒** 瓦電斯

味がよい 集募店賣贩手一 尚本年も倍舊の御景顧賜り度くお願申上ます 一年中は将別の御引立を蒙り離有厚く御禮申上ます

どうぞ御用命の程を | 検起の 本年の第一回入荷は

浪速町

大連市大山通三雄隣リ 見風脈 醫學博士森本辦之助 ノビョウ 電話五三七〇四

と多くを語らず同夜十一時京城酸 満鐵本社の 自働式電話 圍基江 上達し易い

新研究法の發表

けふ宏濟善堂にて

中を解剖

年の出しすると非常な意象込みである

で満洲女子のために花々しく電戦場を領地はれてゐる高見能子様は

日本各地名産 むろあじ

とすれず様でもしたもので、 したもので、此でも

新發見

農業界

オルソフオニック ひ特申 ま約込 す店は に市 10 て内 御及 (定價百五拾圓 契治を最高 定價貳百 二一九〇 (四-

特產、錢鈔、各地相場) 特產、錢鈔、株式各地相場)

各種壹千臺限り

戀

地

(6)

吉

春風萬里

お芽出度うどざ

Va 主

品質日本一

盡作

少し気がかりがある

以上に



百パーセントね上のと

但しそれには、朝と晩 必ず赤

玉一杯づ、召せ!

ものの一と

月 あなたのか体見違へまする



電車がばかに込 田記三は小さい書 しに仕舞った。



の男性

女性は明る

活かる

体力さもに

須らく

一九三〇年型





がインツーリストビューロー 大連案内所 大連案内所

製造時間 大連治療院

ひみ 北よう ふどう酒

B

ないこう ない という かいまのである。彼はそれものである。彼はそれ

九月

自然をひと渡りすばやく眺めた を呼布戦の上に坐つた。彼の目 ないた渡りすばやく眺めた

と丘は雪った。 小姉は下へ去った。 小姉は下へ去った。 丘は小姉の足音が消えると、し した。それは紐で首にかけるやり になった年代ものの大弦の庭城都 になった年代ものの大弦の庭城都

五

あものでも持つて來融へ! それに

秘密書類(六)

「大学に半額はれた的い壁がには、 を整に半額はれた的い壁が、跳れた路に半額はれた的い壁が 機や、 立動な髪はしらや、優い口野を上 立動な髪はしらや、優い口野を上 とい表情に売ちた酸酸全酸には、 とい表情に売ちた酸酸全酸には、 とい表情に売ちた酸酸全酸には、 とい表情に売ちた酸酸全酸には、 とい表情にあるだけの類か

の朝明でんの晩夕

急注御に体容

天用的日用品なり

一種の仕事が出來且保温の為め「ラクダ」

羅紗小倉厚司 新東 賣 信源町市場本 洋

婦人の病は婦 人の手で

在医四大三多

室完備入院隨意

文献・説明書並に見本品送呈 〇ミツワ石鹼本舗

す、五件者にして短き味なるが故と小児は勿論何ような書性に當む特殊の皮膜を施したるを以て一般要解肌の確なし。

▼激素剤の肝油ドロツブスの特色▲

大連市西廣場西入る電車涌 (東京市下午班二英川書館)九見屋商店

本年も一層の御愛顧の程を……

的內省御用達

油株式會

中塊炭市內配達共一噸十四圓

電 話 二一 三二一 掛 今村春逸

遼東醫院

中央公園水樂門停留所前



肝油ドログ

肝油製滋養料の日間(河合総太郎創製)美味佳香の菓子形を呈し、小児も悦んで服用する、数力偉大の美味佳香の菓子形を呈し、小児も悦んで服用する、数力偉大の

min m m

y 52

- 数有に特 神経養婦の人神経養婦の人

(F)

の一三、間の改組派

満洲出稼苦力の

れる、脳氏は之に黙し階談を興へ氏に迷し下野を表明したと供へら

共濟組合

東州政の続作に努力。太田闕東長官、八日穀上京、

ると共に解え氏に部下を飛渡し命

金邁進。

れる、

唐生智氏は前後に離を受け返に置 一一法官の 州職の移跡離せる時間は一関した 一一法官の

下野を表明

大觀小觀

閻氏に對し

閣氏出動に時局一變

半敷は定住

昨年の移民八十七萬

を示してゐるが例年十一月底、四千餘人に上り約五五%の定着

を大原に対かしめて其目的を遂 際院長趙城文を設得し、これを縮 って東京の幹部は脳の代表者たる城 で東京の幹部は脳の代表者たる城

北支及東三省に及ぼす影響

圏的覇権の

南京覇權

の凋落

一昨年六月に成立した南京政府 ・ 大学の演習け、「成立した南京政府 ・ 大学の演習け、「大学学の演習け、「大学学の演習け、「大学学・、北方では十一月十二日の大護によりて演 ・ 大学を職保し得たが、北方では十一月十日の大選によりて演 ・ 大学を職保し得たが、北方では十一月十日の大選によりて演 ・ 大学を職保し得たが、北方では十一月十日の大選によりて演 ・ 大学を職保し得たが、北方では十一月十日の大選によりて演 ・ 大学学の演習け、「反野通電は十二月 ・ 大学学の演習け、「反野通電は十二月 ・ 大学学の演習け、「反野通電は十二月 ・ 大学学の演習は十二月

の際語を指げることは最 を開する場合、一般がかれ ができる場合、一般がかれ ができる場合、一般がかれ を指げることは最

政 学 る総信苦力の數は清潔の生産力が、 主は彼等の定層に内る消費力の増 大其他文化的見地からも今中國際。 大其他文化的見地からも今中國際。 大其他文化的見地からも今中國際。

本を示してあるが例年十一月頃より に達するを盤とし結局昨年末迄の に達するを盤とし結局昨年末迄の が関連が見ります。四月頃頃版 では、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年には、10

工場移轉

のਿ総の百分の二十以上を川箕ナ十五年以上の戦権者には其の當時

天氣豫

見の序幕とも云ふ

(日曜末)

英は断念す

金融機關を

新設か

拓務省に

て重要會議

日佛の方針に鑑みて

理解な反射主張有るに鑑み到底成 を関係につきイギリス側では日本 は関係につきイギリス側では日本 はのでは日本 はのでは日本

が 大概全際は 問題にせの方針である 大概全際は 問題にせの方針である

英首相とは

別莊で會見

成行に繋する一片の形式に過ぎずい場所せられたとしても右は従来の

ド首相は八日一旦國京後又別野に

大藏次官

河田烈氏試筆

銀、直銀等は地域路には ・ で放射するに至らな状態に ・ で放射するに至らな状態に ・ で放射するに至らな状態に ・ で放射するに至らな状態に ・ で放射を加へて機能が ・ で放射を加へて機能が ・ で放射を ・ で放射を ・ でながるとと、する。

ヨージワシント

高国全職一行を加へ近に初め 戦機跳戦を影散

英は依然策を秘す

英外相我全権この會見に於て

我主張に賛否不表明

ドン海軍會議 各國全權は來十七日までに

全部勢揃ひを了る

ような器で、奇鵑その

の 現ロンドンに到着する事となつて 前後して同地を出致し來る十七日 1

交涉成立安南國境條約

館は其成行を注酬してゐる

會見物

と事務打合

0 頃

気歸るか判らわ

氣な太田長官語る

長官初かつた

観客製品の概率低下に就いては相 に於ける解園の主要質別品たる高 に於ける解園の主要質別品たる高

多數

数名士を乘せ

支那全權

在一應醫率してスクワにおける電が正光外型事跡低し沈端額氏が後に十日第出数の鎌定、

第二十四の地域に在る概念研域の ち二十四の地域に在る概念研域の ため西部線構州里までの開通が被 大め西部線構州里までの開通が被 五名の一行が向び現実試を管域した た、これによって総に基面目修理を終へ た、これによって総に表面との がでするとが関する。 連絡が復識した

十日ごろ哈爾賓出發 赴露期 る野 満洲里への

多數見送人に触まれた

め名士の乘船多く、

した三浦高秋氏は夫人同性同群にした三浦高秋氏は夫人同性同群に

外務省へ榮轉

兩機關を設けて

產業合理化

社長も離満庫

く傳へ下さいなりま

拓殖事業振興の為 に駆じた木部守一氏もよね子夫人満線度を部長より日補倉庫舎就長

機能に位し

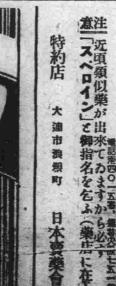
委員會を置くこともし該

産業審議會ご産業局 、百出帆のうらる丸にて内で氏(鏡鈔事務貴族院語

不幸ありしため八日うらる。嘉雄氏(奉天毎日副社長)近 大きる規東長官)民惠夫人で鎌令息同伴河上で、日満倉康社長)よね一氏(日満倉康社長)よね一氏(岩護士)同上

大連市換級町

心に在り



△ガンコなセキが止まりタンが切れて喧噪が爽になり呼吸が とても人体に無野に しなり流光を記す 題し場息の書

ららる丸の賑かな船出 妙女生

選ぶ、然るにどうも見三4~~ にそうした素振を取るこそ、日 にそうした素振を取るこそ、日 極めて遺憾に堪へないの機関係の親睦なるべきに

走

馬

は運動競技で聊か此調和を置り 今所日本實彩廠を描きて、斯道 今所日本實彩廠を描きて、斯道 を発きて、斯道 幸ひに張駿泉の賢明なる、其思 の程度が顔る薄い、

起して、之に参加せんことを告 機会に我在勝商工会談所等の監 機会に我在勝商工会談所等の監

五昭年和 五 元百萬の正人シャフボー

文



は一般の一一一般のいると、は一般の一一一般の一一一般の一一一般のなって なりとし八日朝再び十六名の陳狀 水地方※長を訪び種々陳戦する所 があり、而して午後藤根理事と新



で、日午前十時入港したが、同船 は三等及び戦秘をのみ州一名を乗せ入日午前十時入港したが、同船 はまる一日に廃沽を出版し的河一 できせ、入寸の氷綿一

に離れを重ねて に離れを重ねて にで発展をは全部下船とて近り にで発展とは全部下船とて近り にで発展とは全部下船とて近り にで発展とは全部下船とて近り にであれる。 にであれる。 にであれる。 にであれる。 にであれる。 にできる。 にでる。 にできる。 にでさる。 にでさる。 にできる。 にできる。 にできる。 にでさる。 にできる。 にでさる。 にでる。 にでで。 にでる。 にでで。 にでで。 にでで。 にでで。 にでで。 にででででで。

解を六国とします。 見て低五回であったのを一 であったのを一

ふから第三學

いお休み

学期で始まりました

仪大

は十日の終日汽御座いますマキノ俳優軍の舞臺御挨拶

新本局町五六番 旧本店

八沽で坐洲の

武昌丸歸る

白河の凍結で難航を續けて

けふ天潮丸も入港

一 約 一 週間 を愛し際く入徳 をやめてからは夫人を四谷代教師 して來たものである、なほ六日入 の本既に難し、羅り別形に起院・ 能豫定の天際丸も田河承結のため て正午からの散歩を日跳としばる 人として の天津からの大場がも田河承結のため て正午からの散歩を日跳としばる (人) といい日には附近の銅響を (人) といい日には附近の銅響を (人) といい日には附近の銅響を (人) といい日には附近の銅響を (人) といいて、 (本) といいて、

オード日本工場でも

齊に増俸

従業員は大よろこび

各方面から羨望の的

はたが、この低役人対理なは市内 地域を中では最近機大として総る ・一時順大学をでは最近機大として総る ・一時間が、シャ湾等の小使放性成で、 ・一時間が、シャ湾等の小使放性成で、 ・一時間が、シャ湾等をです。 ・一時間が、シャ湾等をです。 ・一時間が、シャ湾等をです。 ・一時間が、シャ湾等をです。 ・一時間が、シャ湾等をです。 ・一時間が、シャックでは、 ・一時間が、シャックでは、 ・一時間が、シャックでは、 ・一時間が、シャックでは、 ・一時間が、シャックでは、 ・一時間が、 ・一時間が、 ・一時間が、 ・一時間が、 ・一時間が、 ・一時では、 ・一時では、 ・一時では、 ・一方では、 ・一方

滿洲學生陸上競技大會

四月、發會式を擧げる學生聯盟が

初めた 一口に張らしてある、総合 別 形は最近 で正月を思はせる位である、総合 別 形は最近 で正月を思はせる位である、総合 別 形は最近 で正月を思はせる位である、総合 別 形は最近 を中めてからは夫人を四谷代都町 を中めてからは夫人を四谷代都町 を関すれた別様の表現に起ばるが を中めてからは夫人を四谷代都町 を中めてからは夫人を四谷代都町 を関すれた別が を四谷代都町
はなん

(宮の台覽を仰ぎ

老ひの寂寥

と悔恨の僭

かに恨んであるとか、大精は近しといふ無テンポの凋落振りであり ぬといふ無テンポの凋落振りであり ぬっている かったこ人 てまでの年貨客職くがれたつた二人 て

な、 取次ぐと承知せぬぞ」、

に瓦斯ストーヴが出しつ放しにな つてゐる始末に直ちに岩狭町の西 田略師を揺く一方實際に電話して 田略師を揺く一方實際に電話して

の初會議

外滑の豫定

大連署衛生係

台所以七

しかねてるた左觀の仕事につい

かちあぼあさひかたほぶ な ぶはらが う にぬごらめらめらこぼり

る宝の霊

元三三二二〇〇二三三七 元五〇〇二〇〇〇〇〇〇〇〇

し瑞宝に浴して輝く天泉旗の向ふところ雨師應入鏡の箪旗でいと戯癖に行はせられた。顔光、帽影は代々木原頭を聴きれた。顔光、帽影は代々木原頭を聴きした。 東京八日發電』昭和御新政第五年の 劈頭を飾る陸軍始大

観兵式を御統裁 天皇旗燦として輝き、剣光帽影 代々木原頭を壓す 脚陛下の御幸を待ち奉った。 大元帥陛下 諸兵を臠せらる

御機嫌麗しく

海本あらせらる 海本あらせらる なのと

頭右」の最敬徳をなし軍機はするが代」を奏し各陸海しく「捧銃、が代」を奏し各陸海しく「捧銃、 を遊ばされるや耶紫際は再び「君の部より窓太右翼より左翼へと司令部より窓太右翼より左翼へと

召さ

せ

阿片心中文那人の

支那人

三島大佐死去

8

日に告別式

交涉全 ゼネラルモ 、決裂す ータースの争議

に千二百餘名失職 近の人達は「正月から隙下の姿を一度も見ませんが病気では無いでしませんが病気では無いで

「つるや」の

敷時間を經て發見

りへに死んでをり何等遺書なく朋がない。 「生命出した量で避失変で布臓の は全部出した量で避失変で布臓の は全部出した量で避失変で布臓の

代五銭で預かると 四歳以上の小見はおやつ

料理店頭之家にて同日午後二時ご七日午後六時ごろ市内沙河口西町

郡総場に於て執行すると ・ 前率天衡立守備隊長三島勝氏は雅 は十一日午後一時から率天橋立町 は十一日午後一時から率天橋立町

無錢遊興の男

オシ を装ふ

花 4309

3 ム 長 靴 籠ばら屋花環店 特

カタクシー

ゆふべ

小崗子に

辻强盗現はる

馬車夫や自動車運轉手を脅迫

犯人は支那人小使

大原 羽毛 清團 當 編 第五回六組 二十一番 右の通り 普遍 化 候也 大連市 男城町七十 入番 地大連市 男城町七十 入番 地

防寒用裏毛付人保證の場大切見

四六一二週二十五號 共五號

…二圓七十錢

톬

靴

部

同木

昭和五年一月八日と御禮申上候と御禮申上候在滿中の御懇情感佩に不堪乍略儀以紙上厚

00

(京都山城の州製風味は)

本各地名産 東京都五色豆 い物に ひろあじ

東京風菓子謹製 珍

是はらまい

食 大連大山通

て窒死 仲居

家庭用として 幽雅で 6

本芸芸 では例年の如く乗る 大大日から三十日まで終二期間に 力たつて日曜日も休まず柔瀬道の 大殿、石雄四野、剣道は高野配士 大殿、石雄四野、剣道は高野配士 大殿、石雄四野、剣道は高野配士 大殿、石雄四野、剣道は高野配士 大殿、石雄四野、剣道は高野配士 を差支へなく社銭と社員外とを時 も差支へなく社銭と社員外とを時

各種製造販賣

急申込まれたいと 急申込まれたいと 急申込まれたいと

船の援助を求める事が出来ず幾日年の凍結は強中米結しても発氷 状態にあると

初級」にお、この颯爽たる聖上の御英姿

沙河09433 夜間用3628

強く九日午前十時三十分大連港あめりかれ無電 門司登以來風 症語核結・弱衰經神 復回加増の力精・力體 脈 ……等弱衰の後病般ー

はません。 はなもな。 はなもな。 はなもな。 はなもな。 はなもな。 自ら問ひ自ら答へ 悩みの日をおくる 鎌倉の別莊に淋しく春を迎へた とては殆どなく正月元氏から七日 の外領に入らぬらしく「いくら来戦が起訴されてからは訪れるもの 待つてゐる、新聞記者の期間は殊戦が起訴されてからは訪れるもの 待つてゐる、新聞記者の期間は殊戦が起訴されてからは訪れるもの 待つてゐる、新聞記者の期間は殊戦が起訴されてからは訪れるもの 特別である。新聞記者の開きな戦略には数がしい、三を除いては親しいは数がは、一切の一般を戦略にある。 朝鮮疑獄の山梨さん

ルが同家を訪ねたところ、何等答 へがないので不審に思ひ入つて見 ると同人が青くなつて種はり傍ら 一日中休み、八日は朝八時からつ は七日午前十時ごろ歸宅その日は 一級見された、同人 月初めに市内寮日町二番地、飲食店のるやの修居として覧直に働いてるたが、入日朝死職となって 姿を見せぬので同じ仲間の山下へるやに出ることになつてゐたが、 離秋し子供もなくですだったと く全く過失の窒息死と見られてゐ る。因に同人は一年程前から夫と る。因に同人は一年程前から夫と 歌の話にも別にで紫と乗はりなから自殺ではない。

和服、洋服、刺繍、編物

大連伊勢町(吉野駅舎) 話

家庭手藝講習會

出すことになり重大な社会問題と 出すことになり重大な社会問題と なり常局でも頭を悩ましてゐる

既に十五六時間を經過して居り、 更に小崎下警察警山本警師も立會 更に小崎下警察警山本警師も立會 がなく、全く ため死んだものと

春日町の自宅にて

界各國酒類

野力を挑はねばならん。 の救験と經濟國航の救援に国航の の救験と經濟國航の救援に国航の 日こ年来の影響総営を戦闘し自家 悪油せしむるの無風を強らしむる 悪油せしむるの無風を強いる事である。第六に耐寒常業者をして である。第六に耐寒常業者をして である。第六に耐寒常業者をして である。第二には幽秀。

はこれにて止め、更に消費を満たるが、未だ意を養さなる場合を るが、未だ意を養さなる場合を るが、未だ意を養さなる場合を はなる場合を はなる。

本高(八日) 一正,金(銀勒定) 日本向參潛賣銀門。 上海(向參潛賣銀門) 上海(向參潛賣銀門) 七九〇枚 七九〇枚 七九〇枚 七九〇枚

番九五八四話電

大連唯一の大連唯一の大連唯一の大連唯一の大連唯一の大連唯一の大連唯一の大連第一の大権略)

本割は多数の月 地的意楽なり。 地の障害なく極 がある。

四四八八三兩八二三兩五四八八三兩五四八八三三兩五四

常市は氣配變らず五品は一二十銭安田水高定期百四十歳後安田水高定期百四十歳

た、之を以て見るも支那が二月一日より國定税率の實施は萬々疑して置金其他の不當既稅を壓止し即時與備に齎弐すべしと命会し二月一日より關稅自主實行に決してゐるが、各省政府は其前提と二月一日より關稅自主實行に決してゐるが、各省政府は其前提と

釐金その

他不當課稅

0

况

建値を左の通り各一ポイント ・ 本一 ボイント ・ 本一 ボイント

山本正隆營泉平平長山本氏は南支々店の薬館観察の中であるが近く陸路奉天に出で中であるが近く陸路奉天に出で中であるが近く陸路奉天に出で中であるが近く陸路奉天に出で中であるが近く陸路奉天に出で中である。

宜しく欺かざる

生活に精進せよ

東新總裁 宮尾 舜 ム満洲財界は行詰って居らぬ

治

の人口が百萬二百萬になる日は 必ずしも遠い料率ではあるまい 信ずる、在補利人は今日に於て に特達すべきである。

廢止を各省政府に命令

國民政府は愈る來月一日か

新國定稅率の實施に疑ひなし

錢莊の破産 既に十數店に及ぶ

海關收入昨年中の

着十數店を算し、今後船と底無し 水年に入り館か數日間に北平、天 大生に入り館か數日間に北平、天 大は物價離費に儲まされ假結生活 者は事實上三割五分若くば四割の 着は事實上三割五分若くば四割の 着は事實上三割五分若くば四割の が際にいて支那は非常な 者は事實と三割五分若くば四割の 支那經濟界の恐慌

露支の紛擾で

奥地商人達の

意見をも纒める

消費組合問題につき

けふ商議で運動法其他協議

づれも收益増加 主總會は二月十五日頃である。
主總會は二月十五日頃である。
と後期畿越の豫定で株主配當は正

正隆滿銀惠まる

手形交換高 金銀共激增 日 であるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職会會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職会會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職会會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職会會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職会會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といってあるが、その総果同間とは大連 告と使つて全補商職職合會又は全 といっている。 大連小賣商店界の前途 團體の力に依り其活路を拓け

(承前) 大連輸入組合理事 霍田忠雄

立場は容易でないことを痛感する、さりながら小慶商店としで活くべき特長も相當あるであらち、又特機を有するものあもらち、又特機を有するものあるらち、又特機を有するものある。 主襲に因り協力一致合理的仕入 販賣の方法に改善すべきである 共同仕入に就では尚州党の餘地 北本賣商店と問屋との關係等を があるものは野は個人的の情質或 は相當至離事であると云はれる があるものは野は個人的の情質或 は相當至離事であると云はれる があるものは野は個人的の情質或 は相當至離事であると云はれる があるものに就では合い、須らく 考慮する時代ではない、須らく

の動物が行はれる複様で本月中間重次を含せて五十萬間の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間の機である。市場の機能を含せて約五十五萬間の機である。西域の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間を生みる。 西域の機能を含せて約五十五萬間を生みる。 西域の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間を生みる。 西域の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せて約五十五萬間の機能を含せる。

枚

理 過ぎるとか云ふものが相常ある。然し御承知の通り更は 情補別に於て非常な ない と 選すべきものは 早く整理したけ ばならない、 従来の如く 鍵りたけ ばならない、 従来の如く 鍵りたけ ばならない、 従来の如く 鍵りに から云へば かりでなく 満洲 孤潔 思しなけ であるが如きは 足に 會社の 不利である である かっと は からでなく 満洲 孤潔 思りに

との、軍が無法に

分類 一九四五 八五 二三九五 八五 二三九五

ではない

と思ふっ

最新秘藥 特約 者焚にも使へる

豆組の

(四)

平

安

(219)

六日封

台崎 十部助演 神村國太郎主演

月

排

切切

納合名

五

Ξ

八子ロット高級恵本筆

百

朝野の推稱を受けつ。ある近來の快著

に贈るとは著者の心

人と支那人との朝夕の接

は日本と支那とを結ぶ重大なる存在である。

初版は豫告ご共に賣切

就職性とより、子弟を學校に送つてあるい。

が 開試験研究

要社會式供害研本日

石砥砂剛金

この特色ある内容

を御

寛下さい

主日幹支 姬野德一著 最新刊 定價金一個十銭(福季)

再版・三版を増刷して 々發賣!

あり隣交の仲でなくてはなら 案外打解けたものでない。日英米的存在を示すに足る態度 蔡智堪氏序曰。

英不因滿蒙之利源以助之

先づ一冊を手に せよ!

而して満蒙の現狀を識り 對滿政策對支感情に臨め!!

發行

所

華 節 九 段 は 一三一八番 東京七八二四一番

み接品書 かいは直

日支問題研究會 ¥4.00 m 産内

彩

聞記者

口金发美

大連市教島哈西泰福岛

佐志醫院

電話六五〇二年

9

され

をつける

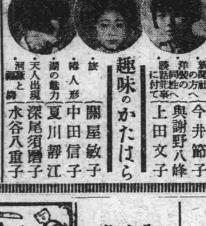
等海のない港池のない港池 ○嗚呼復讐遂に成りし日…は○嗚呼復讐遂に成りし日…は○明後二回不覺の涙……は 口正三郎涙の小 日 現豊代竹 アンケツテイとの態の懺悔、逝けた、三浦環夫人流浪の旅行記と愛に続々と綴り出されるは、世界的に続くと綴り出されるは、世界的

وا

岡 細 牧 辰 三田民田逸 九野 『 樹 馬 紫 泣き 小成金成功列傳辰野九時日東物語(母略)山本照

世間への抗議

趣味のかた



花小內 柳兒 粡科科



(解釋) 白



資本金 支店所在地 壹千 萬 會株 **范家屯、長春、吉林、撫順、太溪湖、安東、興藤街** 金州、普蘭店、貔子窩、鞍山、睾天、小西昌、公主樹 滿 圓 恢替(大連)三三〇番電話(代表)四一二一番 井







古との經緯、これで正しく

大連 羽 洋 行

在庫豐富多少に拘らず御用命願ます

電話 夏三八八七番地大連市条町十五番地

٤

パツキン

な社會施設の色々……

東端の世にさりとは奇怪千萬な話

歌姬

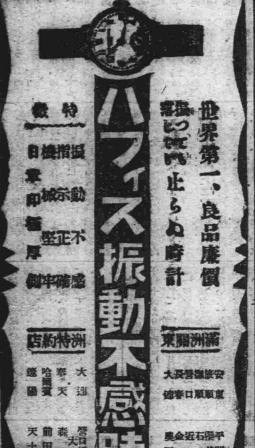
▶ふ乞命用御す荷入數多記上◀

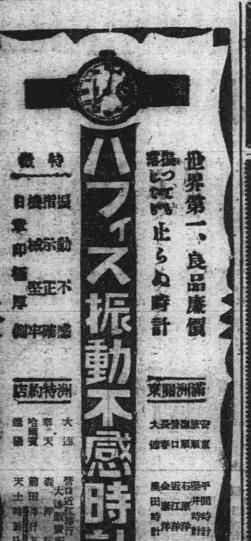
保各 大連市近江町 溫種 材 " 料+ 突が式が

東亞印刷輸出大連支店 電話 大儿儿大 オフセット

念。 新 荷

即





塔行行行选用-

電車京八日設電』 紫霧院護員選票 であるが、官ぶ窓全文及び内でなるが、官ぶ窓全文及び内でなるが、官ぶ窓全文及び内であるが、官ぶ窓全文及び内であるが、官ぶ窓全文及び内であるが、官ぶ窓全文及び内であるが、

官制案內容 委員の顔觸ほど内定

選舉廓淸審議會

自選撃法改正に闘する事項 に関する事項 に関する事項

電球の上日労電 選挙販済総数台 に取立しては費が耐熱を 中には費が耐熱にし、又変量四十名 中には費が耐熱にし、又変量四十名 中には費が耐熱にし、又変量四十名 中には費が耐熱を が成とし、又変量四十名 ではない。

の五項に分って研究し度いとで其の新頭につき継郷が、江木、松田三相より意見の開陳あったが、総局同都を創設でした。 大に数し酸のことに決定した

外相より

中大連銭砂市場における銭貨は配稿。
の通り世界的観安により開市以来。
の鑑落を示し六日七十一圓鉄の新
を順を示したが引渡き落際地まず
安値を示したが引渡き落際地まず
の鑑落を示したが引渡き落際地まず
と順進して止めた地場勢匹か
大日後場に至り
大日後場に至り
たが市場の人気は先右衛安
たが市場の人気は先右衛安

畵伯畵芳柳本宮

外貿易額

の入超額は二千九百一萬二千國四條二千四百卅六萬國同年十二月中(第二千四百卅六萬國同年十二月中)

海

銀また惨落

藤根満鐵理事語る

同長島那十郎

豫審係ヲ免ズ

現物後場の單位鍵) 一時半 41150 10KM0 12450 11時半 4103 10KM0 12450 11時半 40mm 10MM0 12450 11時半 40mm 10MM0 12450 124

三浦義秋氏謝電

中前十時東京公司車で興津に西域に就でも誤職に設明報告し今後の 年後八時東京公司車で興津に西域に記明報告し今後の 東京職職の表表の接渉を並べた 大地に記でも誤職に設明報告し今後の 東京職職の表表の接渉を並べた 大いのでも誤職に設明報告し今後の を入りを表示のといっている。 ないのでも誤職に設明報告し今後の を入ります。 を表示した。 を表示 の豫定であったが一時中止する事が江木線相も風邪のため今夜西下が江木線相も風邪のため今夜西下 諮問範圍擴張 渡邊法相園公訪問 地震に終ける蒙古人に依つて、原門の使用地の り時に数百頭となる、駅間の世間を をなし、更に之等の使用地の り時に数百頭とは一頭の世間 をなし、更に之等の数群が をなし、更に之等の数群が をなり、する大戦が出る。 をなり、が吹中に於て行けるい。 の使用地の をなり、する大戦がはる をなり、する大戦がはる をなり、する大戦がはる。 万項で、繁殖に使用する。 繁殖に使用する。 大学 を表現の製造は外蒙一次 壯快な蒙古の野馬狩 の支那馬 怪なる運命の騾馬

(版二第)

來月の第二日

修選擧を行

行はん

する爲

本司法多與官、今非田遞信次政務次官、小原司法次官、井

大子事 大塚警保局長、次田地方局長、泉二州事局長、篠原普通男務局長、山本郵務局長 震騎法制局参事官

満鐵經營に關し

約三十分懇談す

仙石總裁、藏相訪問

解散斷行に

重り艦艇する艦あり十時代職法し 民政権務合
八日午前十時官邸に井上職相を訪 定である
八日午前十時官邸に井上職相を訪 定である

民政總務會

政府の肚きまる

相こ打合せ

選舉第一主義で進む

表の重大會職に配きその必要場合 間に は、一般の重大會職に配きるの必要場合 に は、一般の重大會職に配に井上端相を に、一般の重大會職に配に井上端相を に、一般の必要場合 に に、一般の必要。 に、一般の必要。 に、一般ので に、一般ので に、一般ので に、一般ので に、一般ので に、一般の必要。 に、一般ので に、一般の に、一般ので に、一般ので に、一般ので に、一般ので に、一般の に、一般ので に 、一般ので に 、一般ので に 、一般ので に 、一般ので に 、一般ので に 、 一般ので に 、 一を に 、 と 、 に 、 と 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に に に に に に に に

軍縮意見を交換

日英の

マ首相

一流の外交策

駐支軍の撤退に

には進捗せぬ模様である

反駁的 回答

岡・川 理事用居 選修三十日香港丸で職補した前補 強理事職院太郎氏は今度東京市赤。 強理事職院太郎氏は今度東京市赤。 強に通知があった

の方針で名方配の意棚を探ると同版されるに至った、政府は既定方 りなかったが、七日版書で松田が、出版書で松田が、北川 (東京七月發電) 政府は (東京七月發電) 政府は (東京七月發電) 政府は (東京七月發電) 政府は (東京七月發電) 政府は (東京七月發電) 政府は (東京七月致電) (東京七月發電) 政府は (東京七月致電) (東京本) (東京本

廓清審議會は

設置に決る

七日閣議で内相より

調査項目を發表

で岩郷全圏・も之を遊りりに空間に で岩郷全圏・も之を遊りりに空間に で岩郷全圏・も之を遊りりに空間に がいる形式を探ったのは二週間盤 がある形式を探ったのは二週間盤 がある形式を探ったのは二週間盤 がある形式を探ったのは二週間盤 で岩郷全圏・も之を遊りりに空間と で岩郷全圏・も之を遊りりに空間と でおいている。

期待され

6

満鐵の根本改革

今春三月頃斷行せん

版に 関は不能統裁の精神を出致既とした なりとの見解をもつてある我國と しては若し佛、伊爾國の既退あり とするも日、英、米三國間に於て ま 出来る 融り 戦級の成立に突め とい」と説明した

騎 車

太田長官の上京を待ち人選し

~廳第二次異動

反對理由

外遊か

遼陽工場移轉の

延期は出來ない

海 『北平七日設電』 輸復製、 劉時、 王金鈺氏等は連名で五日附属生智 せるに難し下野外遊の意思あらば安 全保障の上旅費を続すべしと打電 せるに對した日附原氏より部下車 は
応を郷東氏にごり直ちに外遊の意思あらば安
高の韓氏等は七日間続り直ちに外遊の途
高の韓氏等は七日間続りつた、之が
高の韓氏等は七日間続りつた、之が
高のないたき旨要求した

八日うらる丸にて離滿した三龍前 関東廊外事既長は本社高柳武長に 宛て左の無電を寄せて来た 離柄に際し過去二年間官民各位 より受けたる御懇情に對し深厚 なる謝意を表す貴紙を通じ宜し く御傳意を乞ふ、三浦叢秋よう らる丸無電 川畑源一郎

南澤主南部利爵伯の追悼祭を執行 市内堂岐町出雲大社教に於て魯區四時より岩手縣人會主催のもとに四時より岩手縣人會主催のもとに一時部(旧)追悼祭 九日午後

器であつて 馬匹の多少は自己補族 馬匹は古來後等が有する機一の武 場であって 馬匹の多少は自己補族

心種民族に良馬を供給する影響する機関る大きいので

一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後七時より市内近江町高線俱樂。 一年後一時上台。 一年後一時上台。 一年初頭の 一年初面の 一年初一一 一年初面の 一年初面の 一年初面の 一年初面の 一年初面の 一年初面の 一年初一 一年初面の 一年初面の 一年初面の

現今に在つては蒙古より來る馬匹。 地に於て去勢を行ふことは殆どな

新共に驚慌たる小商階ながら、展 光の明媚な膨は撃ろ前二者に立優 から内間までの水 路は慶東と同じく西江の療滅に染 路は慶東と同じく西江の療滅に染

大学・島原の総が、初期の 開業方蔵への協選には、必ずこの 所第2門の禁壓に起因した り支地に立済るのが常であつた、切支地に立済るのが常であつた、切支

は、天晴れ風影かで残感好趣いふ は、天晴れ風影かで残感好趣いふ に、青螺春布すに四十型間の航行 に、青螺春布すに四十型間の航行

世歌の実世界を関行したホルトガ が、管で連門が有した繁榮は東西 交通間の一摩棚であつた、十六七 交通間の一摩棚であつた、十六七 交通間の一摩棚であつた、十六七

大三巴栗が、白鷺栗、大麻麻、板 たのは正午過ぎ、直ちに自動車をため、 たのは正午過ぎ、直ちに自動車を

界が清浄さ

上、國民一般が、も少政界も國民生活の一反

南征雜錄

(73)

史蹟多き澳門

京都学れば、長江山浦の南浸や、 一本の一本の一本では、 一本の一本では、 一本の一本

文氏は験かに 今の支那を観視するものは、改 強らんとする者の二種であるが 造らんとする者の二種であるが

閻氏出馬の眞意?

は政郡派のみを討つて中央を推議したと聡明してゐる、然るに閣録山氏

事實ならば

左に蔣氏の財力を殺ぎつゝある閻 さして別に新政府を組織せんとする できると通電し決して國民黨を脱黨・ 時局の複雑

が在野鴬より少數で

たばら、間氏の中央施設は第 して皆然り、間氏の中央施設は第 して皆然り、間氏の中央施設は第 闘」であれば敢て闘氏を使つまで 「中央は多額の電師を支給する機

では、 なるから道に際氏の手腕は恋ろした。 大から取費を搭成する一學時間にして中で、 なるから道で際では、 なるから道で際でして、 なるから道でとが成する一學時間にして中で、 なるから道で際氏の手腕は恋ろした。 なるから道でという。 とせば山西

第3なつて来たやうだ 変するか、個氏無限の機 をするか、個氏無限の機 が、長江以北には膨脹し が、長江以北には膨脹し

を関主とする反蔣聯盟には對抗 (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) を関主とする反蔣聯盟には對抗 (調を加ふる等々窓分との立ちる人とせば関氏の南京入) (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) (調を加ふる等々窓分とせば関氏の南京入) 給料を半減され 逃亡兵が續出す 山海關の于學忠軍

際出職準備を に、今後兵隊さんはボイコッで質量組合では貸職れを購るで質量組合では貸職れを購る 千三百元となった、配

と化して掠奪を始めないとと化して掠奪を始めないとと と携へたまる

電政機關改組

三十十餘萬田 の重響を負担を表現したので事質上景要が、株の調査で三十一日に現はれたを建設業者は客年報四十軒であった。 は十二月末に至り前瀬の四軒修路、 で現在二十八軒となった

男でも女でも

13

邦文 タイピスト短期鑑成

|社員 | 招聘固定給支給

学 は常経機のやペナー 電話三三八五・三六七八 電話三三八五・三六七八 ・第一個機関すし 電話三六七八・三三八五

補州牧場 電六二三四

大 東京集略町上野込五八 太洋社 東京集略町上野込五八 太洋社 東京集略町上野込五八 太洋社 習字 涼成教授豊夜

信用 大口貨金及手形割引 日に御用立致します で御入用だけの金子其の で御入用だけの金子其の まます こ河町入口正直洋で電五五五七

不用 品親切本位置受 常陸町 砂場商大 電六八四二 常陸町 砂場商大 電六八四二 常陸町 砂場商賃員入 電六八四二 **貸衣** 京聯體別

満

日案内

滿 洲

> H 報

以界でも困る。 はならゆ。がしか はならゆ。がしか

(可認物便郵種三第)

解散に向 2 7

介石氏の影が 薄くなる で、大に解散し、悪に臨み雌雄を決って、大に解散し、本れがやがて昭和# なく解散し、在野

閻氏の中央擁護は蔣氏擁護でな

は極力高壓的手段を用ゐて省域に日暴落を續け來つた際、支那官滅

撃を蒙る

大業を夢み てあるであらうが、山西派の實力が果してらうが、山西派の實力が果して之を實現し得るかは頗る疑問である。且つ唐生智、馮玉祥の聯合集散は一に閻氏の動きにより合集散は一に閻氏の動きにより合集散は一に閻氏の動きにより合集からに於ては、時局はますく、紛亂の度を増すばかりだす。

私か

恩の無法な壓迫に

暴力を行使 して鏡鈔

・ 倒そうとする難軍は河南 では、 関氏の通電にて船環 にない、 関氏の通電にて船環 蔣氏と正面御笑するこ 局で 南各地に そが 蔣氏を 謂改組織

は、 である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である。 大人である一方五臺山麓に優遇さい。 大人である。 大のなる。 大のな。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のな。 大のな。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のな。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のなる。 大のな。 大のなる。 大のなる。 大のな。 、 大のな。 大のなる。 大のな。 大のな。 大のな。 大のな。 大のな。 大のな。 大のな。 大のな。 軍は昨秋北端事變の電地駐車

りて

で、人民から近八さんと職せられてある一般兵士は終ち生活戦に で、人民から近八さんと職せられした結果、市内戦闘に入戦するもした結果、市内戦闘に入戦するも

海回日本 をして野外的間の無線が 永い戦國時代に濫はれた

鍛園主義とそれに伴ふ高麗手殿とを継承した徳川氏の民動政治は、をの後 職師でなく、歌ろ職器たる で常時民衆の獣外側念は決れない、何 で常時民衆の獣外側念は決 れも當時の海外事

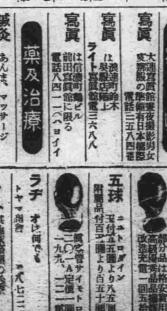
職者の無理解から出た法会の餘殃 であった、斯くて遊響された数徒 の反抗心と、元和優政後志を得な い武士階級の不空とが、合流して い武士階級の不空とが、合流して に來航したのは一千

投賣

本本 大連飲食店組合 電三八四五 大連飲食店組合 電三八四五 大連飲食店組合 電三八四五 一四通常解欄際千山閣電四三六二 不用 品高價質入れ領報次集章 大谷商店 大谷商店

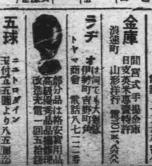
世主 無治御好みの方は 電話六六八八へ 電話六六八八へ 電話六六八八へ



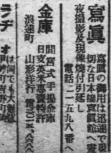




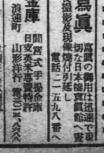


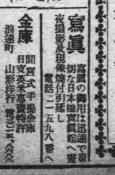


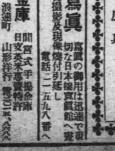
宿



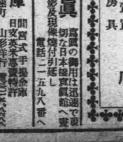
名別 スグ出来ます 全別 スグ出来ます 一番学 親と人にん巻 ままり の御用命は 古野町 一番学 親と人にん巻

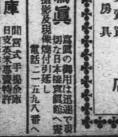


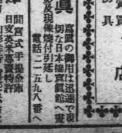


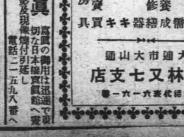




















門札 の瀬戸彫り 野田

一門札 網戸物へ彫り込み
三河町二 徳内 電八六七五
三河町二 徳内 電八六七五
大瀬響城町通五八 有毎宮昌山
大瀬響城町通五八 有毎宮昌山
大瀬響城町通五八 有毎宮昌山

第2000 の御用命は が近洋げ

民在學門儿

西の 祭物業債券金債度 西油三五電車道 大運案内社 西油三五電車道 大運案内社 要更せずとも貸出

婦人 叔ハリキュー 古道具真個

を受ける。 大連劇場際根本薬局官に八六、 発達町石丁目二百一記 発達町石丁目二百一記 発達町石丁目二百一記

(日曜木

大である、其結米期間吉林松花江水上に把桑の宿泊すべき福屋が開かれる【寫眞丁上」は其の把桑の宿屋の院内、「中」は松花江秋上に把桑の宿泊すべき福屋が開かれる【寫眞丁上」は其の把桑の宿屋の院内、「中」は松花江秋上に経する所属大である、其結米期間吉林松花江水上に把桑の宿泊すべき福屋が開かれる【寫眞丁上」は其の把桑の宿屋の院内、「中」は松花江秋上を繍(支那人)

郵便貯金

町の

便り

時で小包歌楽のため二分間ほど配 耐の小包歌楽馬車が城内四至街に 大で小包歌楽馬車が城内四至街に

支那側 人抗議 日本通信夫

倍加す 緊縮の聲の影響

魔あつた 魔あつた 魔あつた 魔あつた 院が任命され後任として張志良 「民が任命された 会任として張志良 で闘率することに變更された總領事は九日十三時着安率線

沿線兒童の

氷滑競技大會

來る二月二日に開催

とを突き止め逮捕し目下取黜中で四時頃右處邱龍に住込んでゐることを突き止め逮捕し目下取黜中で であることが判明し奉天署に於て 川合率天署長、屋子同署保安主 低、小松領事館警察高等主任の完 授を述べた、又寺田撫順警察署長 がを述べた、又寺田撫順警察署長

市内春日町菓子商春日堂では六 日午後四時から十時迄の間に二階 工圓入りの金庫が紛失してゐることを發見したが犯人は外部より侵 をよく知れるものと睨み同店使用 をよく知れるものと睨み同店使用 をよく知れるものと睨み同店使用 でよく知れるものと睨み同店使用

市内平安通十三番地森山某は六行列車が塞天輝に停車中百八圓入行列車が塞天輝に停車中百八圓入りの赤革襲墓口が紛失してゐるのに氣付き掏摸に取られたのではないかとその筋に屆け出た

大日午後一時頃下り十五列車だれた。 を行ふと空室村箱に阿片六貫餘を を行ふと空室村箱に阿片六貫餘を を行ふと空室村箱に阿片六貫餘を を行ふと空室村箱に阿片六貫餘を

▲ 湖竹郷家屯公所長 同上 り來率 り來率

小賣物價の

職衆新華閣に揺き新年宴會を開機を動した。 を調査して、完全の を調査して、完全の を調査して、完全の を調査して、完全の を調査を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を開始したが、協議を関始したが、協議を関始したが、協議を関係したが、協議を関係を関係を表表する。

寒稽古始まる

戦山實業協會では七日午後六時と り會室に於て會員の新年宴會を催 したが先づ加騰會長の被拶あり会 したが先づ加騰會長の被拶あり会

賊を捕へ

感心な守衛

小李家坦に現はれた

子

二人組の强盗

實業協會新年宴

頃湯病子温泉より來較し戦鍼所をり一行料四十名は來る十七、八日

久留島氏外遊

行で官民多數の見識りを受け出競たので七日午後二時二十三分競急

・ 経山製銀所構入試鐵工場事務所限

出初式の順序

た事を警戒中の守御井口入蔵氏が配りての後年に関を何者にか続取され

牛莊派出所主任

馬物語 澤田生

支那女の阿片

(四)

たせ洗ってゐるといきなり手綱を

手編を曳いて岸に下り馬を頂に立 「何楽命ばかりは助けて下さい、ので村人はそれは河童のしわざだ よろ! してゐるを見付けた。 と大層恐がつてゐた。 場子は此野郎と鳴び樹塚で撲殺と大層恐がつてゐた。 場子は此野郎と鳴び樹塚で撲殺と大層恐がつてゐた。 場子は此野郎と鳴び樹塚で撲殺 取被下度、不足の分一個は此男の 順この男に持念させ候につきお受 にの男に持念させ候につきお受 テは河童にだまされたと口惜しが をれからこの山を離云ふとなく が、大黙が出て思議共命を落した が増から軽しい臭氣がもれるので

ものにお間に合せ被下的

親分さま」とあったので

七日午前六時半頃率天驛において奉動怪しい一支那人を警官が認してゐるのを發見した彼は王光先してゐるのを發見した彼は王光先

爐竣工

第三熔鑛

來月中旬火入式學行

製造所第三路鑄庫は総人竣工 総山郡城縣出初式は九日午前十時 まで火入式を奉行すると 本年は實第青年團も参加した記の まで火入式を奉行すると 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 本年は實第青年團も参加した記の 滿鐵新年宴會 均整を圖る

不道部山田二段/ が観光には、日本のでは

本語の 「一年の
株新田野祭職長は六日支野職 林署長の挨拶

を作つたといふ難で、諸士位を授めの青少年の即を海外に向ける機能

今いはうといふのは、然し、

日暮しの出茶人根性の風の吹いて 職民地に片さたる、情ない、その は、 英國の

感心する如

政府の教る方針を

神に合致した行の一個で関した行

を ありません。上に「帯くも志のあったの信するもの」ために生き甲斐の高いため、社会のため、後のではこの意味

人に行き竝つて居る事實でありまと云ふ襟神がよく英國民の一人一と云ふ襟神がよく英國民の一人一と云ふ襟神がよく英國民の一人一

る」と云ふものがあります「フィージーの教館を任せられる智」と云いまのがあります。彼と云いまのがあります。彼と云いまのがあります。彼地である。我々の駆戮的な数望を地である。彼はない所である。

選続させてゐた或る運動感情のマート では、この間もイングランドのクリッケー アト選手を毎年オーストラリアへ アト選手を毎年オーストラリアへ でした。

これも經暦方法の末節でなくて、 ジーの教會を任せられる智」と云いるをです、 これも經暦方法の末節でなくて、 ジーの教會を任せられる智」と云いるを表示するとになって居し、 ここのがあります「ケント」といいよものがあります「ケント」といいよものがあります「ケント」といいよものがあります「ケント」といいよものがあります「ケント」といいよものがあります「ケント」といいません。

ます。成程こんな具合なら功名をと想はせます。 焼へば、今年正月と想はせます。 焼へば、今年正月とではれた論明行賞で(之は毎年

製する本来の意味の重要さか

英國植民地功勞者列傳

荷も志の ある青少年で眼

道を二三丁行つたところで、家には「籤を選せば助けてやらう」とは「籤を選せば助けてやらう」と その代り私の大切な概を上げま を詫びたのに欲がつき、 九十九船と呼ばれる様になった。

するため数千の肥馬を野に放ち一 観世歌は義貞の手兵数百騎を保護 であると、義貞は武運の 職ったとき、義貞は武軍の欧敦賀の手筒山に新田義貞 馬見の池

がれに勢けられたので、東覧した 一心に斬鰯したら、不思議や橋は 一心に斬鰯したら、不思議や橋は 変真は交 一心に斬魎したら、不思議や艦は離長久皆々野んではり西浦の離軍を攻め破った、この松原も花尻川の艦に今ので土地の人達はへかと大きであるので土地の人達はへかと大きなので土地の人達はへから、不思議や艦は

栗蘇した青木課長の後に落部代警:

を展状雨幾百年そのときから此 がの底に鞍をつけた馬の姿が見え おべられ、里人はこの池を馬見の たへられ、里人はこの池を馬見の 地と呼んである。

高木西村の

兩氏表彰せらる

日本産業協會より

石川支店長赴任

車にて来開し開原第一中監の鐵路 事にて来開し開原第一中監の鐵路 事にて来開し開原第一中監の鐵路 事にて来開し開原第一中監の鐵路 事にて来開し開原第一中監の鐵路

附屬地に馬賊

窓場本町三番地味替業者盛暖方に 大日午後七時四十分野拳拳を機へ た四人組の馬城闖入教養を愛射し た四人組の馬城闖入教養を愛射し た成人を破職金品の抵供を選つた が、家人の一人が概能に逃れ急を

森警部記念品 道當局も賛成調査中

が成隊の出初式は七日午前十時から属地所西方の闘場に於て奉行されたボメブ自鵬車二素及全職競別して渡邊職監督指揮の下に激練及削防器具の操法を行び機器と行び機器と行び機器長の部群・井上地方空間の制御ありて上時かれ職本所長の機器の市民萬蔵三唱ありて正正 消防出初式

今日の案内(九日)

多數出場されたしと

校では恒例により來る十三日開堂に於て義士會を開催職員や見童の

恒例に依る消防出初式は六日午前

名一園改元料三十銭につき同野者以下十等まで賞を贈る由會費は一以下十等まで賞を贈る由會費は一等

鴨綠江の氷上に

バスを運轉

今回青島支店長に発聴せる當地内前八時三十八分の列車にて家族同様社代の響である 二週間請望に於て久元教師指職の

多 新年の娯樂として且又親睦の意味 に於て在出有志に依り窓起せられ たる脈雀會は五日正午より八外線 十名岁食を共にして和氣糖×縄に 十名岁食を共にして和氣糖×縄に 大小野食を共にして和氣糖×縄に 大小野食を共にして和氣糖×縄に 大小野食を共にして和氣糖×縄に 大小野食を共にして和氣糖×縄に 大小野食を対した。 新代常民政支器線務課長や井煮三 新代常民政支器線務課長や井煮三 新代常民政支器線務課長や井煮三 新代常民政支器線務課長や井煮三 をは流石に師志無分別とに表情の 無法なるものあり、所会はました。 大久のお陰と緊痛の際に表情の が出して四月二萬三千四百六十一日三萬 が出い五萬一千大百三個八十三萬六千九百九個人十二萬六千九百九個人十二萬六千九百九個人十二萬 一本で一五二千國の預金超過を示し 小さな窓口で取扱つた現金とで、通常郵便の方も年費 が出い五萬一千大百三個八十三鎮。 を取扱つた、通常郵便の方も年費 が出い五萬一千大百三個八十三鎮。 を取扱つた、通常郵便の方も年費 を取扱つた、通常郵便の方も年費 を取扱った、通常郵便の方も年費 を取扱った、通常郵便の方も年費 を取扱った、通常郵便の方も年費 を取扱った、通常郵便の方も年費

麻雀會の盛況

郵便局の繁

ヨクキクに

ペルメル

定價四十銭五十銭 承に代物品

を表するです。 できます という が 前日 立あった 小数は没くなってるます。 こうして一週間も毎晩漬けますと、見ちがこうして一週間も毎晩漬けますと、見ちがってる程、若返って來ますとは、此寫眞の美人へる程、若返って來ますとは、此寫眞の美人へる程、若返って來ますとは、此寫眞の美人へる程、若返って來ますとは、此寫眞の美人



の装ひ 美しい黒髪に染る









嬢子やつ橋石 阪大





御婦人の方はお寝みの前に顔を洗ひペルメルを薄ぐしいて圖の如く顔面をマッサージしたを薄ぐしいて圖の如く顔面をマッサージしたを薄ぐしいて圖の如く顔面をマッサージした。

若返る皮膚の改造薬!



へる程

(許符賣事) 薬除驅蟲蛔の一界世

で下るい。

美別に女の命 表へる 表へる 表へる 「鬼下しってくなり こんで 美味でよく ますまる

店商吉友澤藤 二町修道阪大



鑲江靜川夏京東







表代の酒清良純

还用御倉內宮

滋養第一のこなおちょ

3種区集西南西

真の愛の為に

又お母様御自身の滋養さしても御常用下さ 早速ラクトーゲンをお與へ下さい。キット い。若しあなたのお子様に發育不充分だと 健康になられます。 思はるる点が少しでも御座のましたなら、 母の子に對する愛程真剣で純真なものはな

いますれば常に健康を保つ事が出來ます。



嬢子靜 柳青 府甲

孃代 鈴鳥大 京東









纏: 半星大 間器

品 賞 Ξ 等 金侧腕卷時計 人

一、投票

下記の規定に依て投票して下さい、投票の多いのを一等としこれに選に當られた人です、讀者諸君は何れが一等美人だと思ひますか、縣下の代表美人として推薦された內審査の結果一等から拾貳等迄の此の拾二美人の寫眞は日本電報通信社主催で全國三百新聞社が各府

投票された讀者に抽籤で賞品を呈します



無之艶よえする 純粋の椿 油

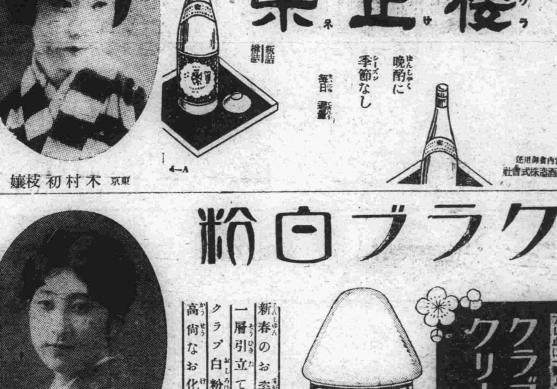


重くなっての手術より 軽い時の手当

削門專経流 権成ある新

嬢子つま中田 館画

農業民名は一月下旬本紙上に浸設 下北區中ノ島 管が、場合、大阪電報・通信・社器・賞係 嬢ヾす黑石 駐名 血遺 著衰貧 白弱血 変別、虚弱兒、本 しむるに至る夫が しむるに至る夫が



CLUB"TOILE 間ロブラク

最近 我が文 部省は國 歌「君が代」の正式の服ひ方を宮殿する為め、これを東京智樂感校に俟騙しめ、これを東京智樂感校に俟騙した。ことを過日の機能紙上で見受けましたので、此の機能紙上で見受けましたので、此

サウンド模様

望

級が既に外國の國歌を如何 またこれが収締りに

で、西洋樂の二長調だと思ってゐ まり、同じく二音に終ってゐるのと、メロデイーが二音に始 なのと、メロデイーが二音に始

連長唄界 岡

貴は全補の洋臨日本臨彫刻を割合 電管を大連で開いた。その時の會 では昨年――昭和四年五月。

 沙时

時は起立脱帽とて敬意を表するの ながらまだくと関係に発って をががっては見がいからまだくと関係に発っては をがは、かがはしい場合に「 が関ののに発っては関行場の人寄せの樂 を変したり、所構はずに かりません。なほこの外、説情はで ながらまだが、これ等は全く を変したり、所構はずに なりません。なほこの外、説情はで を変したり、所構はずに なりません。なほこの外、説情はない を変したり、所構はずに なりません。なほこの外、説情はない を変したり、所構はずに 外國人が自國の國際を破壁する 心持は、非常に凝厚なもので、如 何なる場合でも、國際を再にする 時は起立脱帽して敬意を表するの 時は起立脱帽して敬意を表するの が常であります。然るに飜へつて が常であります。

に定められたのである。

各製技及び瀏覧師に於てWかこと に文部省分で、此のWを大祭日に はんでした。そして明治二十三年

満洲へ來で繪を覆りたいが有望 かどうかと云ふ手紙を寄越す處を が論から云ふ手紙を寄越す處を ある爲と思ふが、まさか君は満洲 ある爲と思ふが、まさか君は満洲 もに繪植きが一人も居らず――居る り

を思つてるのらやあるまいなったら、來る君は野神を出いて来るとしたら、來る君は勝手だが、來らしなければ、內地へ愛つて君は勝手だが、來らとなけいて来るといれば、內地へ愛つて君は勝手だが、來らの現象になると思ふからちゃならぬ現象になると思ふからちゃならぬ現象になると思ふからちゃならぬ現象になると思ふからと、

るかと云ふ意味か、それとも總筆をとる者が居るかと云ふ意味か、それとも總筆をとる者が居るかと云ふ意味か判然しないが、どちらにしても居る公時どんな田舎へ行つても順民地の行つても減査と網播き 第一、滿洲には網描きが居るかと云ふこと。

セントである。

が集められ、其處で陰を調節しイクロフオンからこの機械に緊 ▼Shorts できの拙い器。 ▼Synchreny 音響と置の膨きが ピツタリと合致するやうに撮影 する過程。 する過程。

Monitor Man 音響技師。

Movisola トーキー撮影後、

Misa用に技師が使用する機械音

もたけるし書も見える、フキル

A 編飾用にも使用します。

A No Bottom 壁の底がない、すなはち、低質が積れてゐるとき

Vo Top 高質がめちゃくになってゐるとき。

A つてゐるとき。 ▼Pitch 樂管は基礎振動數と滞替 とから出来るのです、その基礎 とから出来るのです、その基礎 ▼Overdone フキルムが不良現像の部分が傷んでゐること。 ▼Wild shots 需要なしで撮影 満洲では繪より名を質

それからこれは解説ですが、トーキーの撮影所では、非常に戦車す、ときのません、それで、いよいとなると、強い三つ鳴りません。それで、いよい・で質に戦車なを破ぶことは申すまシーバーで質に戦車なを破ぶことは申すまか。もし、ででも観査な監験をしているますが。もし、ででも観査な監験をしているますが。もし、ででも観査な監験をしているますが。もし、ででも観査な監験をしているますが。 本の知きは大連にだけも 本の知きは大連にだけも 本の知きは大連にだけも で別が設さうなれば傾々 をつて、繪楽書の段から演別 をつて、繪楽書の段から演別 をつて、繪楽書の段から演別 をつて、繪楽書の段から演別

一九三〇年は、大連もいよく、パートになつて、サイレントのテトーキー時代だと思ひます、東京 クニックはすつかり御存知ですから子 にも、大阪にも、上部にも、天津 ら、新年のプレゼントとして最近に、 にも、ヘルビンにもトーキー出場 米圏のサウンド・スタギオで流行に、 にも、ヘルビンにもトーキー出場 米圏のサウンド・スタギオで流行に、 に動いのは 協和館 配だけであった はわれーへに 実味がありませんかる ないのは 協和館 配だけであった はわれーへに 実味がありませんから ことです、市中にも 実晴らしい新 つておれば おもしろいと思ふもの ち、ことではトーキー 職賃上、知 ちことです。 市中にも 実晴らしい新 つておれば おもしろいと思ふもの たまにも W・E・リプロデューサ コーヨーク・タイムス日 階附録か エーコーク・タイムス日 階附録か

にして止めて置かち。 ではい話もあるが、 ではい話もあるが、

君が代は洋樂でな

Lo

(六)

いと、飛んだ計選ひを添き起す恐いと、飛んだ計選ひを添きを無はななってみることは、世界各國ともに同様であります。ですから、其に同様であります。ですから、其の原扱ひには最善の注意を無はな かの心得のある人なら直分ることですが、曲中に四度も出て來るハ智は、木雷は使用されてゐない」とは、木雷は使用されてゐない」とは、本雷は使用されてゐない」とは、紫鏡波でなく、全く日本の雅樂でなく、全く日本の雅樂である。

滿洲美術界展望 内地の繪描きへの返事

を 神描きが居るか杯と云ふ思問を が るにはちと多過ぎる歴居る。 か るにはちと多過ぎる歴居る。 か でれの分野――と云ふ思問を 蒙が でしてるないが、右の綜合的の歌 でしてある 滿洲美術家協會を別にして一城一國を訪ねると、不同社、木賊會と云つたものがあ

で若代中深速奏者が出て來て「 全補の数章 關係 の畵家を 綜合した」と云へなくなつたやらである た」と云へなくなつたやらである た」と云へなくなつたやらである マー 無然とはしてゐたが――集然とはしてゐたが――集然の事。 思ふ。第一回の時は新入學式の如 思ふ。第一回の時は新入學式の如 思ふ。第一回の時は新入學式の如 にやつてゐる。

右の如く滿洲には繒擂さがいたなるか――となると聊かと 政治上には朝鮮楽漫とは 形を有する地であるが、こ であるが、こ であるが、こ であるが、こ であるが、こ であるが、こ であるが、こ であるが、こ

を此師にから横下と付けて を此師にから横下とは中村師近が を此師にから横下とは中村師近が を此師にから横下とは中村師近が を此師にから横下を付けて を此師にから横下を付けて を此師にから横下を付けて を此師にから横下を付けて を此師にから をと質に申分の無い師匠である。近 と質に申分の無い師匠である。近 とでは、と変いのが をと変いのが をと変いのが をと変いのが をと変いのが をと変いる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をと変いる。 をとなる。 をとな。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 をとなる。 大学 は天津にご命(?)して居る大郎におうてにものお家大事にご命(?)して居る其他快会が出て居るした人名ともを説は、一般に方を附さない所が第一年において居る其他快会を記してはある。大学にご命(?)して居る大學にはある。大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にご命(?)して居る、大学にごからいままります。

スぶ人々がある。// をであるが、健令ば昨秋の をであるが、健令ば昨秋の の念頭に浮んだ人々のみで の念頭に浮んだ人々のみで

簡單だ、脚體と云ふものの方を眺めると――どう

日本端にもアマチュアは石の阿佐実君の如く。然しその他は四君の如く。然しその他は四君の如く。然しその他は四君の如く。然し

である。 形態は鬱血の常木芹を 形態なの常木芹を をの一人の常木芹を 選び その一人の常木芹を 選び

許特賣專

今

津 佛

國理

學

博士發

要ない。東京美なものでもよい、東京美なものでもよい、東京美なものでもよい、東京美なものでもない、東京美なものでもない、東京美なものでもない。

連

क्तं

道

撮影の準備が出

株洋日乾富王 式 本 士子 會紙製製製製

社類紙紙紙紙 丸 株株株株 王直式式式式 會會會會會 店輸社社社社 出出代代特特 張 理理約約 所入店店店店店

話 テニ人〇〇旦

紙 類 直 輸 出 社式

監 五. 商地

ョの町場





土十銭銀貨が 一錢の値打 銀塊相場の大暴落で

太后陛下を

月一日より質施さるゝであらう 局松宮殿下 社會施設を 御内意があつたが、

溫自

喜

員募集

御巡視遊ばすに決した

A

初春の沿線 見物を 兼ね

申定會 市中市中、無順炭礦、奉天城內、安東及新義州、治り、十七日奉天泊り、十九日五龍背泊り、二十二日所後六時大連歸着日熊岳城泊り、二十一日午後六時大連歸着一月十五日大連午後十時發、十六日湯崗子對翠閣一月十五日大連午後十時發、十六日湯崗子對翆閣

約三十名 一名金參拾參圓也 (一切の健費を含む)

ン、ツーリスト、ビユーロー(五五五四番)・八番)大連鐡道事務所營業係(七八一四番)ジャバ十四日午前中迄に會費を添へ本社事業部(六三四

大連鐵道事務所

分出來たのである。其上に採目入に金塚」で碁が強くなる資格が充

荷一郎席すい

東京風菓子謹製

O

鼠である、即ち新紫の陰極線管内

に緊張を基する事となった

過して数光性状物より成る形き幕

111111.

ピョ

界各國酒類

食

00

小陸兩用の

國際飛行場

東京郊外羽田に建設

花屋ホテ を打つかり其版で目に見える工學的、 ・ では、要素に、 ・ では、 てある

泊客尠〜負傷者二名

原因其他は取調中

七日午後七時四十五分強信機町五 一一ノ入五 在屋 ホテル 階上より出 人し大連消防磁等大連の飛防総筋質で 虎離消防磁等大連の飛防総筋質で 虎離消防破断を掘め埠頭、老 一時は大連目域の場所ではあり附 では大連目域の場所ではあり附 近に商店棚比し硫関館、途東ホテ CIII AUV外一名の転儲者二名を出及手傳客の飛驛町七番地室長文治 たに過ぎなかった 不起訴と決定 宮田元總監は

物料十萬川・保險付東班艦は一大混響を基したて交通連艦其他で大混響を基した 一作書類を振へ上京することへない。一件書類を振へ上京することへない。一件書類を振へ上京することへない。

全満郵便局の ●関係が教行ると濁りで ・ 関係が集が生滅する。 ・ 風味が生滅する。 ・ 風味が生滅する。 ・ 風味が生滅する。 ・ 風味がよい、 ・ ことが超過

大阪出張所及製造元三谷アルミニューム製作所大阪出張所及製造元皇帝準道通大阪市東淀川區中準道通

尚本年も倍邁の御季顧賜り度くお願申上ます どうぞ御用命の程を 線起の 本年の第一回入荷は 多

選年中は格別の御引立を蒙り難有厚く御禮申上ます

意 大連市大山通 三越隙り 醫学博士森本辨之助 電話五三七〇番

の必勝の打ち方砂幅があいく分の必勝の打ち方砂幅があいく分の必勝の打ち方砂幅があいく分の必勝の打ち方砂幅があいく分の必勝の打ち方砂幅があいく分の必勝の打ち方砂幅があいく分の当時を出てするは、上の質力が獲得されるのでありとあらゆる方面を計画であるが今回新倉出でも込むが今回新倉出でも込むが今回新倉出でも込むが大田ができるが今回新倉出であるが今回新倉出でも込むが大田ができるが、名人大家の實際とあらゆる方面を許認でも込むが今回新倉出でも込むが一段とあるが今回新倉出でも込むが一段であるが今回新倉出でも込むが一段により、大田ができるが、大田ができるから、大田ができるから、大田ができるが、大田ができるが、大田ができるから、大田ができるが、大田ができるから、大田ができるが、大田ができるが、大田ができるが、大田ができるから、大田ができる。 御飯が獨リア 集募店賣販手一

●電影線で御飯が出来る ●電影解が中域でる の電影解が中域でる 出來る釜

浪速町

記四〇九章

昨年十二月中全滿日本郵便局取扱に比し二十五萬間の増加、また擦



3

関もうんとは下して、となり百年来たい安値を現出したが、之に従ってい安値を現出したが、之に従ってではなっている。 が解けた御物語りあらせられ三 皇太后陛下を御訪問、同一時ま 皇太后陛下を御訪問、同一時ま 東京八日愛電」 皇后陛下には 東京八日愛電」 皇后陛下には 東宮のお二方御同僚にて柴山に 東宮のお二方御同僚にて柴山に 東宮のお二方御同僚にて柴山に 東京八日愛電」 皇后陛下には 時半宮城に御鸞りあらせられた対解けた御物語りあらせられ三

電燈水道料値下げ 關東廳が 一齊に斷行

の十銭の質質しか

WTしてまさに五分の ででは、 でが通の観賞は大正九

始んど完全

きのふ桑港において實験

一般放送興味をひく

ル等あり電車通りに臨めること」

「教は盗電観完成の総果旅殿の初二」二割方であるが、関軍と同様二てその低減額は水道料は未だ的確。 為は各一點方天水値下げを見る模なる數字を示すには至らぬが電燈。様であるが協論電の値下げ率は初なる数学を示すには至らぬが高は各一點方を総頭に金州、普臘店、獅子へく目下病角型帽中である。而し一點方を総頭に金州、普臘店、獅子

凍死二百名 一の十金の間境とは大正九つた我園目下流通の銀貨は大正九年の銀塊製験が時ペーオンス八十年の銀塊製験が時ペーオンス八十年の銀塊製像が時ペーオンス八十年の銀塊製像が時ペーオンス二十七十年ので之を現在の一オシス二十七年ので之を現在の一オシス二十七年のでといます。 と取りりに入るものかどうかは疑いて五十鏡は其の五分の一の質性となる響である。こうなると観が費をなる響である。こうなると観が費を はれる程の暴液振りである

さといはれてゐる『北平特電八日發』北平はこ、數日、寒氣 酷寒北平を襲る

大いに緊張

線テレビジョンを一つに鑑めた様 加を希望してゐる、無機電話と無 カス及びメリー夫人に試験放送器 クス及びメリー夫人に試験放送器

る良好な成績を示しい

映像は発と完

原因に就ては女中其他につき目下大連器に於て詳細取謝中であるが、大連器に於て詳細取謝中であるが、大連器に於て詳細取謝中であるが、大連器に於て詳細取謝中であるが、

現金受拂成績

異顕に上る見込で出火の

まだ實験室内の課題と

テレビジョンが斯く

は際製造を建した消防が

金解禁

の記念牌を頒布

五百個を限つて一個三圓

初日五十銭均

春場所は

我蹴鞠の始め **天智天皇はス**

7

K

太

(1)

の土人や、極地にある水上の未開 は黄部の時だと云ふことになって を思はれる。後後書には朝の始め と思はれる。後後書には朝の始め を思はれる。後後書には朝の始め が、最近の が、またとになって が、最近の が、またとになって が、またとになって が、またとになって が、またと が、またと が、最近の が、またと を が、またと が、またと が、またと が、またと が、またと が、またと が、またと が、またと を が、またと を が、またと が、またと が、またと を が、またと 人さへも種々の技蔵を有つて居る 起原は或は餘程古いものとであるから、動物もそ

の電報を受け取つてすぐに名づけて設つたのが鞠子であつた。鞠のことを謎べて居た際であつたから女の子が生れたといふ家から

だと云ふことである。

と云ふことである。その質哉は京都の飛鳥井子説について蹴鞠長女の鞠子が生れたのを鞠子に聞いて見ると九年前の一月二日

たよいた三宅文麿博士は物故され、飛鳥井子獣に難しては何とか子は其後順調に育つて居るがその時京都の翰の人々に紹介してい

*の事態から今にその資を果さずに居る。その折飛鳥井子

した記念の白統を一つ家質として

のは、度々の形態しで、何處に

に言つて

の常時苦心して留めて置いた。

大化政策といふあれ程の大事業

機は急級では、 を で、皇子の皮靴の一にいるで、 を で、皇子の皮靴の一にいるで、 を でで、といるで、 を ので之より皇子との解が密想に大 化新版の大事業を成し歌げられた といる、スポーツに関係ある事出 といる、スポーツに関係ある事出

職な土俵祭を行ひ九柄の太嶽は土 高さに揚げこれにアンテナをつけ 総館役員等全部土俵際に参製、数 を立てず新家の鰥氣球を四百呎の を明日に控へた八日午前十時から いアンテナを娶するが、特に高塔 ので特に高 することが出来る。臓鞘といふ上のスポーツが正式の上で先づこのスポーツマン天管天皇に光つて 禁の日本經濟の歴史

二十十七十 やらうせるればない ち米の家は なりたから

塩を始めたが、記念

ちゃないか

圍碁に

農業

界

上達し易い 新研究法の發表

関素は解析や五目並べより難しいであるから子供でも本院を習へばであるから子供でも本院を習へばであるから子供でも本院を習へばであるが、素人同志で無法に打つては趣味もなく上

東京、市四谷區館等町九十五 東京、市四谷區館等町九十五 1)で今回發賣した武田谷二八一 1)で今回發賣した武田谷二八一 1)で今回發賣した武田谷二八一 1)で今回發賣した武田本の監察信先生校託園本口を直接先生が手を取り口帳する通り解りよく機大生が手を取り口帳する通り解りよく機大野山 をスツカリ智へは「鬼

日本各 い ろ あ じ 京都 五色豆 むろあ 地名産 是はらまい (京都山城の川製風味は) 玄米入宅の番茶

報告や意味が加の4年で 東京ではこれが中で申込むれば無代 東京で動り、五島で申込むれば無代 東京で動り、五島で申込むれば無代 東京であり、五島で申込むれば無代 は、から至島で申込むれば無代 は、一日で申込むれば無代

戀

地

(6)

吉

郎

畵

お芽出度うど

Va ま す

萬

里

品質日本一

「何だか僕は少し氣がかりがある

と、丘は言葉をつづけた。と、丘は言葉をつづけた。四君なのぞいて安心出来るのは、君だけた。四君はおも立つて働らく人達だ。で、君にはその伝わを

以上にするソース お手並をお手並

と、大山が心配さらに言つた。

君たちさへ安心

るる此の四君の中の一人に――そ

はしてはいかんのだ。君は僕が歸るまでそれを保管してゐればよろしい。そして鹽朝した僕に返してくれるがよい。僕が彼地で萬一死・

事に際しても、

とも、君は決して数を現

内がくしに仕舞った。

限つて、默つでうなづいてそれを農田登三は小さい書類収みを受

しかし、丘はもう藤田

おりにが、當分安全にその書類を 対れん。で、僕が君を見込んで額 人達は一種機能な膨膨を建すかも で、僕が君を見込んで額

であた。しかしそれは相手には微 瞬田は微笑を返さうとして唇を れるかどうかと思つてゐたよ」

して置く。僕は君にはまだ詳しく

五和

と唇をほころばして出い歯を見して際田が目に止まるとニツコ

「うん、まあ出来るだけうまい種だ」
のものでも持つて来給へ、それに
か解だ」
い姉は下へ去つた。
とはは言った。
とはは言った。
とはは神の足者が消えると、し
につかに懐をさぐって城布を取り出
した。それは紐で育にかけるやう
になつた年代ものの大型の皮城布 で闘弱したものである。彼はそれ はその中から小さな紙包みを取りて、とこし

大連案内所 大連案内所 大連案内所

恰度その時小婢が下から上つて 「それなら驚要を食ふより先きに の朝明でんの晩今 意注御に休客

「おあつらへは?」

と、丘は何でもないやうに微笑



B

層 0

御愛顧の程を……

智內省御用

株

會



病氣を癒すには

製造

產室完備入院隨意

、強強町四丁目

促医四六三粉

本 陽 光 線 療 法
◇外科、皮膚病、痔、性病、婦人病亦偉効あり
◇外科、皮膚病、痔、性病、婦人病亦偉効あり
◇宇宙文は秘密の治療に本器を推變す
◇治療器の販賣文は貸與をなす(適性廣地) 大連治療院

びみがよう

生薬か較膏を推奨する ・ルミチンの ・ルミチンの ・ルミチンの

蜜の仕事が出來且保温の爲め「ラクダ」

こく、温く楽々自由に仕事が出來ますからとなります、家庭用ハナキゴム手袋を使用となります、家庭用ハナキゴム手袋を使用 情子 芸学 表 の

実用的日用品なり

は贅沢品ではなく

羅紗小倉厚司 華手現金卸賣

婦人の病は婦人の手で 信適町市場 本 **建**

司

中塊炭市內配達共



今村春逸

電 話 ニー ニニー 番地大連市西公園町一三一番地

東田本道の元 東京 〇 作士 スプ・ロド語群 Cod-Liver Oll-Props.

肝油ドロップス

肝油製滋養料の白眉(河合龜太郎創製)

man

が心過勞の人 脳の悪い人 力養退の人

野衰竭の人

> 52

の男性 須らく 若く 女性は 九三〇年型 活々と

明語

百パーセントぬ上のと 体力ごもに

玉一杯づくみせー 但しそれには あなたのお休見違へまする 朝と晩必ず赤 ものの一と

> 文献・説明書並に見本品送呈 ▼諸種の運動競技者にも推奨す 東子状となせる美味住香の滋養料にして、一般柔養不良、虚ずる最も適當なる滋養料なり。 ▼激素物の肝油ドロツブスの特色▲ ツワ石鹼本舗 大連市西廣場西入る電車通 (東京市下谷(8)110日本) 丸見屋商店